

TOKYO
INSTITUTE
OF
TECHNOLOGY

東京工業大学要覧



2001



CONTENTS

| | | |
|----|---------------------------------|----|
| 1 | 学 長 あ い さ つ | 2 |
| 2 | 東 京 工 業 大 学 の 現 在 | 8 |
| 3 | 歴 代 の 校 長 ・ 学 長 | 8 |
| 4 | 評 議 員 ・ 運 営 諮 問 会 議 委 員 ・ 役 職 員 | 11 |
| 5 | 機 構 図 | 12 |
| 6 | 諸 事 項 の 変 遷 | 14 |
| 7 | 職 員 数 | 16 |
| 8 | 学 部 | 18 |
| 9 | 大 学 院 | 21 |
| 10 | 附 置 研 究 所 | 22 |
| 11 | 学 内 共 同 教 育 研 究 施 設 等 | 22 |
| 12 | 研 究 科 ・ 附 置 研 究 所 附 属 研 究 施 設 | 23 |
| 13 | 寄 附 講 座 及 び 寄 附 研 究 部 門 | 23 |
| 14 | 研 究 体 | 24 |
| 15 | 工 学 部 附 属 工 業 高 等 学 校 | 26 |
| 16 | 附 属 図 書 館 | 27 |
| 17 | 情 報 処 理 ・ ネ ッ ト ワ ー ク シ ス テ ム | 30 |
| 18 | 学 生 数 等 | 33 |
| 19 | 留 学 生 | 36 |
| 20 | 研 究 員 等 | 37 |
| 21 | 国 際 交 流 | |
| | 財 務 の 状 況 | |
| | (1) 歳入・歳出 | 39 |
| | (2) 科学研究費補助金 | 39 |
| | (3) 外部資金等 | 40 |
| 22 | 入 学 状 況 | 41 |
| 23 | 卒 業 者 (修 了 者) 就 職 状 況 | 42 |
| 24 | 国 際 交 流 会 館 ・ 留 学 生 会 館 ・ 学 生 寮 | 44 |
| 25 | 土 地 ・ 建 物 面 積 | 45 |
| 26 | 施 設 位 置 図 | 46 |
| 27 | 建 物 配 置 図 | 49 |
| 28 | 沿 革 図 | |

東京工業大学のシンボルマーク

表紙のシンボルマークは、昭和23年、当時東京美術学校教授の堀 信二氏の図案によるもので、工業の「工」の字につばめを「大」の字に図案化して配している。また「工」の字は、窓をかたどっており、学窓の意味をも象徴している。また、「つばめ」は、瑞鳥として古くから慶ばれているものである。

この要覧は、本学ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.titech.ac.jp/>

ごあいさつ

この要覧を手にしていただき、東工大の何かに関する情報をご覧戴ける事を有り難く思います。

本学のスタートは明治14年5月26日(1881年)に創立された“東京職工学校”にあります。平成13年5月25日(2001年)に、1日早めでしたが創立120周年記念式典を致しました。

長く続いた徳川幕府が明治維新によって崩壊し、明治政府がスタートしました。ヨーロッパに較べて、我が日本が種々の面で遅れをとっている状態を強く認識をした明治政府は、日本の将来の在り方の模範を、ヨーロッパ社会に見て取り、多くの点でそのシステムを輸入致しました。その流れの一つとして、本学の前身も設立されました。その目的は、当時の最先端の技術を取り扱える職工の養成、工場の経営をできる技師の養成にありました。その後次第に日本の工業技術レベルも進んできましたが、それに応じて、学校の名前も、東京工業学校、東京高等工業学校、東京工業大学(昭和4年、1929年)と変化してきました。この間、時代時代に求められる多くの技術者、研究者、学者を輩出し、我が国の発展に寄与してきたと、自他共に認められるところです。

当時キャンパスは東京の蔵前にありました。現在ではなくなりましたが、当時の工場には煙突が付き物で、煙突から煙が出ていればいるほど立派な工場でしたので、“煙突のあるところ蔵前あり”と言われてきたものです。現在は事情が変わりました。煙突は姿を消しましたが、東工大の卒業生は、煙突のないところでもこれまで以上に活躍致していると自負しています。

ご存知のように、大学には専門の大きな括り毎に 学部、 研究科という名前を付けています。我が国の収入の大部分は、工業製品を海外に輸出する事によりもたらされていると思います。その為に第一義的に必要なのは、他の国に勝る工業製品を生産することです。本学はその事に直接関係する、理工関係の学問をメインにしております。

現在、大学院重点化という国の政策によって、大学院の使命に重点を置くように指定された大学が理工関係では8個ありますが、本学はその一つです。理工学、総合理工学、情報理工学、社会理工学それと生命理工学の5つの理工学研究科と、研究を主体とする資源化学、精密工学、応用セラミックス、原子炉工学の4つの研究所、その他15のセンターで日夜、理工学分野における研究をしています。そうすることによって、世界の学問の進展と日本の経済を支えるための努力を致しています。

21世紀には20世紀が残した、解決が急がれる多くの問題があります。地球汚染 地球温暖化 環境問題 エネルギー、食糧、エイズをはじめとする病気等、全世界が協力して解決していかないと地球上の人類を含む生物の存在すらが難しくなる危険性があります。この様な問題の解決に積極的に取り組まねばならないと考えます。

理工系の事ばかり学んでいると、ややもすると人間的に視野が狭くなるのではないかという心配があると考えられています。その弊害をなくすために、本学は他大学に先駆けて、52年前、大学が新制度になった時から、教養教育にも力を入れてきています。ただし、日常の学生生活におけるモノトーン性はこれまで如何ともし難いところがありましたが、その解決にもなり、且つ学べる範囲も一段と広がる四大学連合(東京医科歯科、東京外国語、一橋、本学)が結成され、平成14年4月からスタートする事になりました。これには、二つの大学からそれぞれ異なる学士号、又は二つの大学の一つから学士号、もう一つの大学から修士号を貰える制度も日本で初めてスタートする事になりました。先生方の研究、大学院学生の研究においても、複数の大学をまたがってできる体制も整いつつあります。

それぞれ長い歴史と伝統のある大学が、その専門が異なるからこそ可能となる、広い分野での協力体制が21世紀の初頭にスタートできる事になりましたことは、本学のみならず、この連合の大学及び他の大学にも良い影響をもたらすであろうと考えているところです。

20世紀において、本学はそれなりに努力をし、貢献もしてきたと自負しています。21世紀は、上に述べた四大学連合という新しいシステムの力を積極的に用いて一層の貢献を致したいと考えています。

本要覧に直接関係のない事柄について述べましたが、要覧には、本学のこれまでの種々の実績に関するデータが記載されています。何らかの参考になれば幸いです。また、ここに掲載されていないけれども、この様なデータはないかなどの問い合わせがありましたら、御遠慮なくどうぞお申し込み戴ければと思います。関係者である故に見落とす事が多々あるかもしれませんので。

東京工業大学長

内藤喜之

1. 東京工業大学の現在

* できごと (5大ニュース 2000年度)

1. 白川英樹博士ノーベル化学賞受賞
2. 四大学連合憲章締結
3. 大学院重点化の完了年度
4. 運営諮問会議スタート
5. イラン・イスラム共和国 ハタミ大統領来学

白川英樹博士ノーベル化学賞受賞



メダルを手に笑顔の白川博士
(写真提供 共同通信社)

2000年12月10日、ノーベル財団は、白川英樹、A.J. Heeger、A.G. MacDiarmid各氏の業績「導電性ポリマーの発見と開発」に対して、2000年のノーベル化学賞を授与した。

白川英樹博士は、1961年に本学の化学工業課程を卒業し、大学院に進学、1966年博士課程を修了後、資源化学研究所高分子材料部門(故池田朔次教授)の助手となられ、池田朔次教授が行っていたアセチレン重合の研究を引き継ぎ、ポリアセチレンフィルムの合成に成功した。

1976年、白川博士はA.G. MacDiarmid教授(ペンシルバニア大学)のもとに留学し、A.J. Heeger教授を加えた3名の共同研究により、ポリアセチレンフィルムにハロゲンをドーピングすると電気伝導が12桁上昇することを発見し、この研究業績が今回のノーベル賞受賞となった。

四大学連合憲章締結(平成13年3月15日締結)

四大学連合憲章

21世紀を迎えた今、グローバル化された社会において、真に国際競争に耐えうる研究教育体制を確立することを基本的理念とし、東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京工業大学及び一橋大学は、ここに、四大学連合を結成する。

四大学連合は、連合を構成する各大学が、それぞれ独立を保ちつつ、研究教育の内容に応じて連携を図ることで、これまでの高等教育で達成できなかった新しい人材の育成と、学際領域、複合領域の研究教育の更なる推進を図ることを目的とする。

各大学が相互に連携を図るにあたっては、各大学が、それぞれ異なる分野の学部、研究科及び研究所等を有していることを踏まえ、

履修や進学に関して、学生の選択の幅を拡大し、より良い教育体制を確立すること。

共同研究プロジェクトや学際的な研究領域での協力を行うことにより、国際的な研究水準の維持・達成を目指すこと。

海外の大学との連携により、教育研究の更なる発展・向上を目指すこと。

という三点を具体的な目標として、学生、教官及び研究者の交流を図り、各大学の研究教育の水準を一層向上させるよう努力するものとする。

大学院重点化の完了年度

大学院の研究科は、①学部を基礎としているもの（通常の研究科）②学部を基礎としているが大学院に教育研究拠点としての役割を持たせ、独立部局として位置付けられたもの（大学院重点化研究科）③学部を基礎としていないもの（独立研究科）に分けられる。本学は、平成10年度から大学院の重点化を進め、平成12年度の概算要求により、これが完了し、次のとおりとなった。

重点化された組織 理工学研究科（理学部，工学部），生命理工学研究科（生命理工学部）

独立研究科 総合理工学研究科，情報理工学研究科，社会理工学研究科

これにより本学は、名実ともに大学院を中心とした「研究大学」、「理工系総合大学」として、新たな歩みを始めることになった。

運営諮問会議スタート

第1回運営諮問会議が、平成12年7月5日に開催され、会長に遠山敦子（国立西洋美術館館長（当時）、現文部科学大臣）氏を選出した。（現在の同会議委員は9ページ参照）

その後、学長から本学の現状と課題についての説明があり、各委員から次の事項について貴重なご意見をうかがった。【学部のあり方】【大学院のあり方】【大学と附属高等学校との関わり】【四大学連合】【広報活動】



第1回運営諮問会議

イラン・イスラム共和国 ハタミ大統領来学



ハタミ大統領名誉博士号授与式及び記念講演の様子

平成12年11月2日、国家元首級としては42年ぶりの来日となった、イラン・イスラム共和国セイエッド モハマッド ハタミ大統領が本学を訪問した。大統領は、学長はじめ大学関係者の盛大なお迎えを受けた後、かねてから進められていたシャリフ工科大学との学術交流協定の調印式に立ち会われた。



調印式の模様

その後、場所を講堂に移し、大統領の永年に渡る国際学術交流における顕著な業績に対し、本学から名誉博士の称号が贈られた。また、「日本の詩とイランの神秘主義」と題した記念講演が行われ、人類の発展と科学技術の果たすべき役割について貴重な示唆があり、会場を埋めた本学学生・教職員、イラン関係者が熱心に聴講した。この講演は、スペースコラボレーションシステム（SCS）により全国の大学にも双方向通信され、本学学生のほか、東京医科歯科大学、京都大学の学生からも質問が寄せられた。

* トピックス (東京工業大学の^{いま}現在を伝える)

創立120周年記念事業

記念式典・記念講演会・記念祝賀会

明治14年5月26日「東京職工学校」として始まった本学の歴史が、120周年の区切りを迎えたことを記念し、平成13年5月25日大岡山キャンパスにおいて、記念式典、記念講演、記念祝賀会が行われた。

式典では、内藤学長から、本学が世界最高水準の理工系総合大学となるよう、更に努力することを誓った式辞が述べられ、続いて、遠山文部科学大臣、長尾国立大学協会会長、千野蔵前工業会理事長から祝辞をいただいた。

記念講演では、白川英樹博士による「東京工業大学と私」と題する講演があった。



内藤学長による式辞



大学歌斉唱

創立120周年記念講演会

21世紀のあけぼの - 夢をかたち -

創立120周年を記念して、現在の最先端科学技術内容を、本学教官をはじめとして、その道の第一人者の方々にわかりやすく話していただく講演会を以下のとおり開催する。

(分野別テーマ) 人と技術の共生

「創造性の拡大/楽しさの追求」6月30日(土)

* 技術立国 * 未来ロボット化社会における人とロボットの共生 * マイクロメカニズムの世界 * 21世紀の情報化社会を支えるナノ光エレクトロニクス

「豊かさの充実」9月18日(火)

* 金融工学の起源、今、そして未来 * e経済のソフトウェア構築による豊かさの追求 * 中小企業金融と信用リスク評価 * B to C 取引と金融データマイニング * 電子マーケットプレイスにおける取引先の信用リスク管理

「優しさの創造」10月27日(土)

* 化学反応している分子をみる * ソフト溶液プロセス -

セラミックスを水中で作ろう * 液晶のつくる世界 * もののけ姫とたたら製鉄今昔

(分野別テーマ) 生命と心

「生命維持への挑戦」10月7日(日)

* 人工臓器 - 生命をまもる - * 老化 - 不老長寿にせまる -

「高校生のための講座」7月23日(月)

* 素粒子と宇宙 * 「結び」と科学 * 物質波を使ったレーザー

(分野別テーマ) 自然との共生

「地球を大切に」7月14日(土)

* 地球の資源と環境 * 地球シミュレーター: スーパーコンピュータで地球を作る * 地球に優しい快適な都市を目指して * 小型ゴミ発電 - 真の循環型社会をめざして

「身近な環境」12月1日(土)

* 我が家が発電所 - 太陽電池でクリーン発電 * エンジンと環境 * こどもとあそびの環境 * 地震のもつ破壊エネルギー: 建築構造の新しい方向

長津田キャンパスの名称変更 ~ これからは、すずかけ台キャンパスに

昭和50年以来親しまれてきた『長津田キャンパス』の名称を、最寄り駅の名称「すずかけ台」にちなみ『すずかけ台キャンパス』に改称することが、記念式典学長式辞のなかで発表された。

“すずかけ”はプラタナスのこと。プラトンがこの木の下で講義をしたことにちなんで名付けられたと言われ、学問研究の場であることを示すのにふさわしいとして、駅名となった。

百年記念館

白川博士記念コーナー



同コーナーを訪れた白川博士と内藤学長

白川英樹博士のノーベル化学賞受賞を記念し称え、平成12年12月21日、百年記念館地下の特別展示室に「白川英樹博士記念コーナー」を設置した。このコーナーには、ノーベル化学賞のメダル（レプリカ）及びそのホログラム、ヨウ素をドーブしたポリアセチレンフィルム、研究ノート、修士論文・博士論文、学生時代の写真等を展示している。

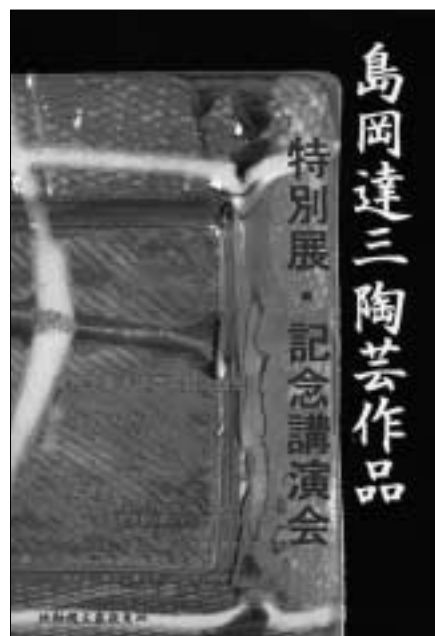
重要無形文化財（人間国宝）島岡達三

陶芸作品特別展・記念講演会（平成13年6月19日から21日まで）

島岡達三氏は、昭和16(1941)年に本学窯業学科を卒業し、以来、創造的な民芸陶器を制作し続け、1996年に国の重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定された。今日、同氏の陶芸展は、国内はもとより世界各地で開催され、多くの人々に賞賛されている。

この特別展は、島岡氏の同級生で親友の中澤三知彦氏が長年にわたり収集され、昨秋、本学に寄贈いただいた110点の作品を中心とした、島岡氏35歳の初窯以前の習作から81歳の最新作に至るまでの50年に及ぶ歩みを一堂に展覧した作品展である。

特別展では、このほかに百年記念館が所蔵する、本学教員であったG・ワグネル氏（旭焼）、板谷波山氏（マジョリカ）及び卒業生の河井寛次郎・濱田庄司（民芸陶器）・辻 常陸（有田焼）・加藤 鈔（瀬戸焼）・村田 浩（益子焼）ら著名な陶芸家諸氏の作品も展示され、また、現在の無機材料工学科における先端セラミックス研究の一端も紹介された。なお、6月19日には島岡氏ご自身並びに同氏の作品に造詣の深い水尾比呂志先生の記念講演も行われた。



キャンパス点景

（建設中の総合研究実験棟

～主として社会理工学研究科が使用）

平成14年春の完成を目指し建設中(9,180㎡の9階建)、高度情報機能を有する総合研究実験棟で、300人規模の国際会議ができるセミナーホールも予定されている。

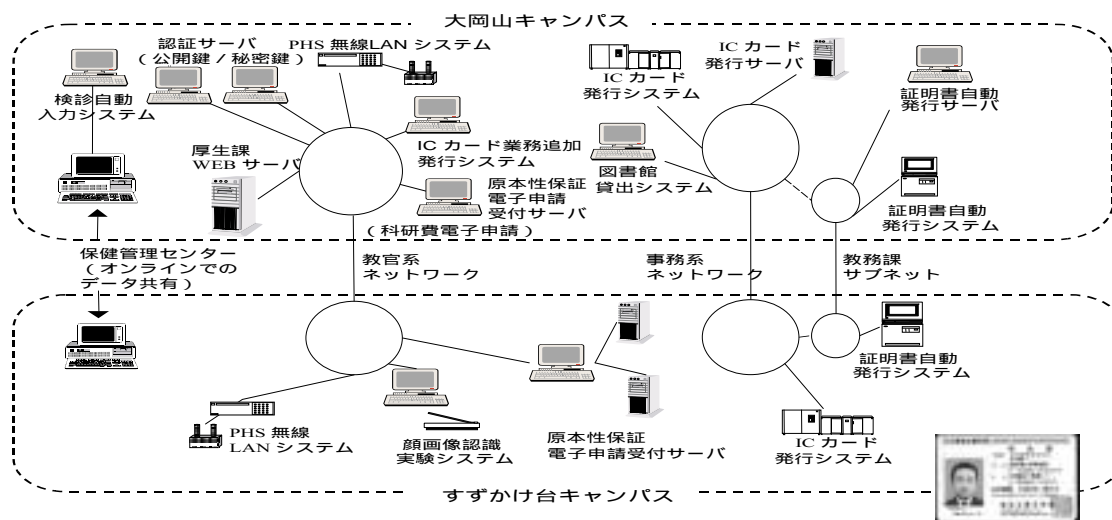


（正門前のケヤキ）

平成12年度の大岡山正門内環境整備の一環として植えられた。ロータリーの中央にあり、団地内の緑を予感させる。



電子身分証明ICカードを用いた高度キャンパスネットワーク



平成10年度から、全学生・職員約12,000名の学生証・身分証明証をICカード化し、各種サービスにおける本人確認に使用するとともに、申請・申告等の電子化やネットワークを通じたサービスの提供等を開始している。これは、大岡山キャンパスとすずかけ台キャンパスだけに留まらず、将来のオープン型サービスの提供に向けた、高度セキュリティ・プラットフォーム構築を指向した先進的な取組の一環である。

1. 高度セキュリティ・ネットワークシステム

既設のキャンパス情報ネットワーク Titanet に、電子身分証明ICカードを用いた本人確認を行うための認証サーバを配置して、高度なセキュアネットワークを構築している。これは、(1) ICカード発行システムや証明書自動発行システム、(2) 将来の広域多目的サービスにも対応するためのICカード業務追加発行システム、(3) インターネット環境でのオンライン電子申請・申告等のための原本性保証型電子申請基盤システム、(4) PHS無線LANにおけるICカード認証システム、等から構成されている。



2. 電子身分証明ICカード

現在、学生証または身分証明証としての機能を持つICカードの本人確認機能を用いて、(1) 在学証明書や学校学生生徒旅客運賃割引証(学割証)等の自動交付、(2) 建物の入退館管理、(3) 健康診断受付の自動化、(4) 図書館の入館チェックと貸出処理、等を実現している。また、平成12年度より、教官に配布された電子身分証明ICカードを活用して、科学研究費補助金(科研費)のオンライン電子申請も試行運用を開始し、本格運用に向けた取組を推進している。さらに、ICカードを用いたセキュリティ機能を利用して、物品請求業務のオンライン化や学生への情報提供サービスの充実を図るための準備を進めている。

電子行政や電子商取引等において、広域多目的利用型ICカードの共通プラットフォーム構築の動きがますます加速しているなか、IT装備キャンパスの先駆けとして、さらなるアプリケーションの拡大が期待できる。

フロンティア創造共同研究センター・活動の現況

フロンティア創造共同研究センターは平成10年4月に、文部省(当時)の「キャンパスインキュベーション」構想に沿って、産学官共同研究プロジェクトのフォーメーション・実施・研究成果の技術移転、ベンチャー企業の育成を通じて、東工大発の技術による新産業創造に資することを目的として設立され、以来精力的な活動を行っている。

本センターは、研究の実施主体である共同研究機能と、学内の研究シーズと産業界のニーズのマッチングを行い、また産学研究プロジェクトの形成を任務とする研究・情報交流機能から構成されている。

(1) 共同研究機能

(専任教授 5 名、客員教授 4 名、助手 5 名)

共同研究機能の各プロジェクトは、全学から選ばれた4つの分野(生命・情報・物質・環境)の重要プロジェクトで構成され(表1)、限られた期間のなかで成果を上げるべく全力を挙げた取り組みが行われている。一部のプロジェクトは終了期を迎えて次のプロジェクトへのバトンタッチを行っているものもある。

(2) 研究・情報交流機能

(専任教授 1 名、技官 1 名)

研究・情報交流機能は、本学の研究成果を産業界へ移転して新産業を創造することを目的として活動している。この活動のために東工大では産学官連携コーディネータの制度を設け、企業経験者や自治体職員を受け入れ、学内の技術シーズの発掘や産業界のニーズとのマッチングを行っている。

表1 共同研究機能プロジェクト概要

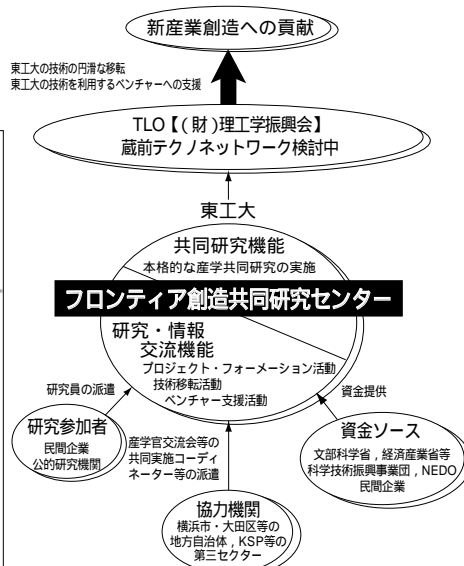
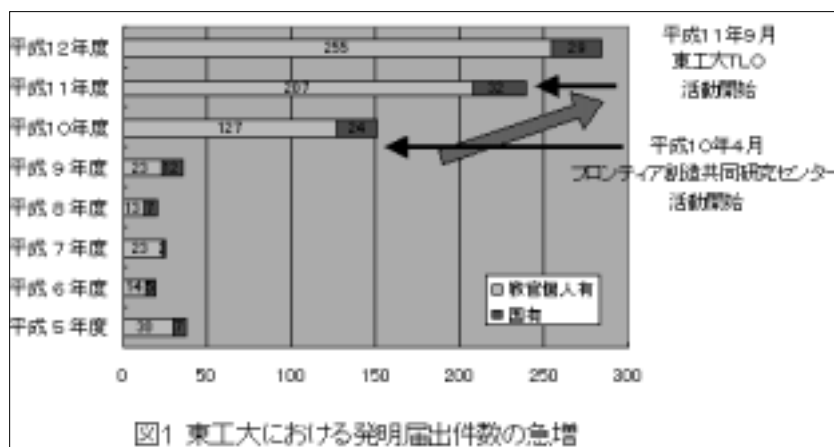
| プロジェクト名 | リーダー | 研究期間 | 予算総額 |
|-----------------------------------|----------|---------------|--------|
| 微粒子利用型生体結合物質等創製技術 | 半田 宏 教授 | 平成10年度～平成14年度 | 約20億円 |
| 次世代強誘電体メモリの研究開発 | 石原 宏 教授 | 平成10年度～平成15年度 | 約20億円 |
| 脳型情報処理機構の研究開発 | 小杉 幸夫 教授 | 平成10年度～平成12年度 | 約1.9億円 |
| 化学工業におけるライフサイクルエンジニアリングのための情報基盤構築 | 仲 勇治 教授 | 平成10年度～平成12年度 | 約6億円 |
| ナチュラ映像流通技術の研究開発 | 大山 永昭 教授 | 平成12年度～平成16年度 | 約11億円 |
| コンビナトリアルマテリアル科学技術の研究開発 | 鯉沼 秀臣 教授 | 平成12年度～平成15年度 | 約30億円 |

平成11年9月には(財)理工学振興会が東工大TLOとして活動を開始し、研究・情報交流機能と一体となって技術移転活動に取り組んでいる。平成12年度は100件を超える特許出願を行い、10件以上のライセンス契約を締結した。

図1は、学内の発明届出件数の推移を示したものである。平成10年4月に本センターが活動を開始してから、学内における発明届出件数が急増している。これは研究・情報交流機能により、研究成果を権利化することへの啓蒙活動が行き届きつつあることを示している。

今後は、共同研究プロジェクトの形成、本学発の東工大ブランドのベンチャーの立ち上げに向けて一層その活動を強化しつつあるところである。

こうした活動は、大学の学術研究ポテンシャルを公共財たる知的資産として蓄積し、これを効率的に産業界に移転することで広く社会に役立てるものであり、これからの大学の大きな社会的使命を果たすものである。



2. 歴代の校長・学長

校長

| | | | | | | |
|----------|---------|------|-----|-----|-----|-----|
| 東京職工学校 | 明治14年5月 | 事務取扱 | 山正手 | 岡木島 | 次退精 | 郎蔵一 |
| 東京工業学校 | 明治23年3月 | | 阪手 | 田島 | 貞精 | 一 |
| 東京高等工業学校 | 明治31年2月 | | 手島 | 島精 | 精一 | 一 |
| | 明治32年2月 | | 手島 | 島精 | 精一 | 一 |
| | 明治34年5月 | | 手島 | 田貞 | 栄之進 | 一 |
| | 大正5年9月 | | 阪吉 | 武村 | 幸之助 | |
| | 大正9年12月 | | 中 | | | |
| | 大正15年6月 | | | | | |

学長

| | | | | | | |
|--------|------------|------|-----|-----|-----|----|
| 東京工業大学 | 昭和4年4月 | | 中八和 | 村木田 | 幸之助 | 次六 |
| | 昭和17年3月 | | 山本 | 田俊 | 秀小 | 勇一 |
| | 昭和19年12月 | 事務取扱 | 内山 | 内山 | 俊義 | 一吉 |
| | 昭和27年6月 | | 大實 | 山吉 | 純忠 | 年一 |
| | 昭和27年8月 | | 斯波 | 波忠 | 忠夫 | 夫 |
| | 昭和33年8月 | 事務取扱 | 斯波 | 波忠 | 忠夫 | 夫 |
| | 昭和37年8月 | | 加藤 | 藤上 | 六六 | 美光 |
| | 昭和41年8月 | 事務取扱 | 加藤 | 藤上 | 六六 | 美光 |
| | 昭和43年8月 | | 川齋 | 藤田 | 正進 | 光六 |
| | 昭和43年10月 | | 松田 | 中松 | 武郁 | 彦三 |
| | 昭和44年5月 | 事務取扱 | 末木 | 村喜 | 安喜 | 晴孟 |
| | 昭和44年10月 | | 内 | | | 之 |
| | 昭和48年10月 | | | | | |
| | 昭和52年10月 | | | | | |
| | 昭和56年10月 | | | | | |
| | 昭和60年10月 | | | | | |
| | 平成元年10月 | | | | | |
| | 平成5年10月 | | | | | |
| | 平成9年10月～現在 | | | | | |

3. 評議員・運営諮問会議委員・役職員

評議員名簿（平成13年4月1日）

| | | | | | | |
|--------------|---|------|---------------|------|---------------|-------|
| 学 | 長 | 内藤喜之 | 大学院生命理工学研究科教授 | 大倉一郎 | 大学院社会理工学研究科長 | 田中善一郎 |
| 大学院理工学研究科長 | | 細谷曉夫 | 同 | 田中信夫 | 大学院社会理工学研究科教授 | 圓川隆夫 |
| 大学院理工学研究科教授 | | 柿沼勝己 | 大学院総合理工学研究科長 | 秋鹿研一 | 同 | 矢野眞和 |
| 同 | | 南不二雄 | 大学院総合理工学研究科教授 | 大町達夫 | 資源化学研究所長 | 石田愈 |
| 工学部長 | | 水谷惟恭 | 同 | 加藤雅治 | 精密工学研究所長 | 上羽貞行 |
| 大学院理工学研究科教授 | | 林巖 | 大学院情報理工学研究科長 | 小川英光 | 応用セラミックス研究所長 | 安田榮一 |
| 同 | | 梶内俊夫 | 大学院情報理工学研究科教授 | 渡邊貴介 | 原子炉工学研究所長 | 藤井靖彦 |
| 大学院生命理工学研究科長 | | 橋本弘信 | 同 | 小島政和 | | |

運営諮問会議委員名簿 (平成13年5月1日)

| | |
|---------|-------------------------------|
| 大 見 忠 弘 | 東北大学教授 |
| 金 子 尚 志 | 日本電気株式会社取締役相談役 |
| 田 中 郁 三 | 学校法人根津育英会理事長・武蔵学園長 (元東京工業大学長) |
| 千 野 孝 | 社団法人蔵前工業会理事長 |
| 長 尾 真 | 京都大学長 |
| 西 野 善 雄 | 大田区長 |
| 廣 中 平 祐 | 山口大学長 |

(以上50音順)

役職者名簿 (平成13年4月1日)

| | | |
|--------------------------|-----------------------------|---------------------------------|
| 学 長 内 藤 喜 之 | 理 学 部 長 (併) 細 谷 曉 夫 | 原子炉工学研究所長 (併) 藤 井 靖 彦 |
| 副 学 長 (教育担当) (併) 森 泉 豊 榮 | 理工学研究科理学系等事務長 青 木 宣 男 | 原子炉工学研究所事務長 町 田 俊 治 |
| 副 学 長 (研究担当) (併) 相 澤 益 男 | 大学院理工学研究科長 (併) 細 谷 曉 夫 | 附 属 図 書 館 長 (併) 齋 藤 彬 夫 |
| 事 務 局 長 渡 邊 隆 | 工 学 部 長 (併) 水 谷 惟 恭 | 附属図書館長津田分館長 (併) 横 山 正 明 |
| 総 務 部 長 佐 藤 賢 | 像情報工学研究施設長 (併) 半 那 純 一 | 附 属 図 書 館 事 務 部 長 大 埜 浩 一 |
| 総 務 課 長 渡 部 博 靖 | 理工学研究科工学系等事務長 畑 山 克 己 | 附属図書館情報管理課長 塚 田 吉 彦 |
| 人 事 課 長 伊 谷 賢 二 | 工学部附属工業高等学校長 (併) 石 井 彰 三 | 附属図書館情報サービス課長 益 田 義 孝 |
| 企 画 広 報 室 長 森 谷 諒 治 | 工学部附属工業高等学校教頭 (副校長) 青 木 輝 壽 | 保健管理センター所長 (併) 小 林 彬 |
| 経 理 部 長 原 克 己 | 工学部附属工業高等学校事務長 土 川 孝 平 | 教育工学開発センター長 (併) 牟 田 博 光 |
| 主 計 課 長 古 沢 六 朗 | 大学院生命理工学研究科長 (併) 橋 本 弘 信 | 学術国際情報センター長 (併) 藤 原 英 二 |
| 経 理 課 長 高 田 勝 彦 | 生 命 理 工 学 部 長 (併) 橋 本 弘 信 | 極低温物性研究センター長 (併) 奥 田 雄 一 |
| 情 報 処 理 課 長 岩 上 信 義 | 大学院総合理工学研究科長 (併) 秋 鹿 研 一 | フロンティア創造共同研究センター長 (併) 下 河 邊 明 |
| 契 約 室 長 末 石 健 | 大学院情報理工学研究科長 (併) 小 川 英 光 | 文教施設研究開発センター長 (併) 坂 本 一 成 |
| 学 務 部 長 伊 藤 征 司 | 大学院社会理工学研究科長 (併) 田 中 善 一 郎 | 火山流体研究センター長 (併) 榎 敏 明 |
| 教 務 課 長 三 橋 顯 | 資 源 化 学 研 究 所 長 (併) 石 田 愈 | 留 学 生 セ ン タ ー 長 (併) 大 橋 裕 二 |
| 厚 生 課 長 彦 坂 伸 一 | 資源循環研究施設長 (併) 正 田 誠 | 遺伝子実験施設長 (併) 関 根 光 雄 |
| 入 試 課 長 須 鎌 勇 | 精密工学研究所長 (併) 上 羽 貞 行 | 炭素循環素材研究センター長 (併) 海 津 洋 行 |
| 留 学 生 課 長 渡 邊 伸 一 | マイクロシステム研究センター長 (併) 下 河 邊 明 | 量子効果エレクトロニクス研究センター長 (併) 古 屋 一 仁 |
| 施 設 部 長 永 島 弘 一 | 応用セラミックス研究所長 (併) 安 田 榮 一 | 生物実験センター長 (併) 工 藤 明 |
| 企 画 課 長 清水大次郎 | 構造デザイン研究センター長 (併) 吉 村 昌 弘 | 外国語研究教育センター長 (併) 井 上 正 篤 |
| 建 築 課 長 加 納 博 義 | 総合理工学研究科等事務部長 星 昭 一 | アイソトープ総合センター長 (併) 広 瀬 茂 久 |
| 設 備 課 長 佐 藤 峯 穂 | 総合理工学研究科等庶務課長 藤 瀬 政 和 | 理財工学研究センター長 (併) 森 雅 夫 |
| 研 究 協 力 部 長 細 川 洋 治 | 総合理工学研究科等経理課長 戸 澤 和 夫 | |
| 研 究 協 力 課 長 森 暉 志 | 総合理工学研究科等教務課長 田 邊 耕 次 | |
| 国 際 交 流 課 長 鈴木文子 | | |

内藤喜之 学長



森泉 副学長(教育担当)



相澤 副学長(研究担当)



細谷
理工学研究科長・理学部長



水谷
工学部長



橋本
生命理工学研究科長・生命理工学部長



秋鹿
総合理工学研究科長



小川
情報理工学研究科長



田中
社会理工学研究科長



石田
資源化学研究所長



上羽
精密工学研究所長



安田
応用セラミックス研究所長



藤井
原子炉工学研究所長



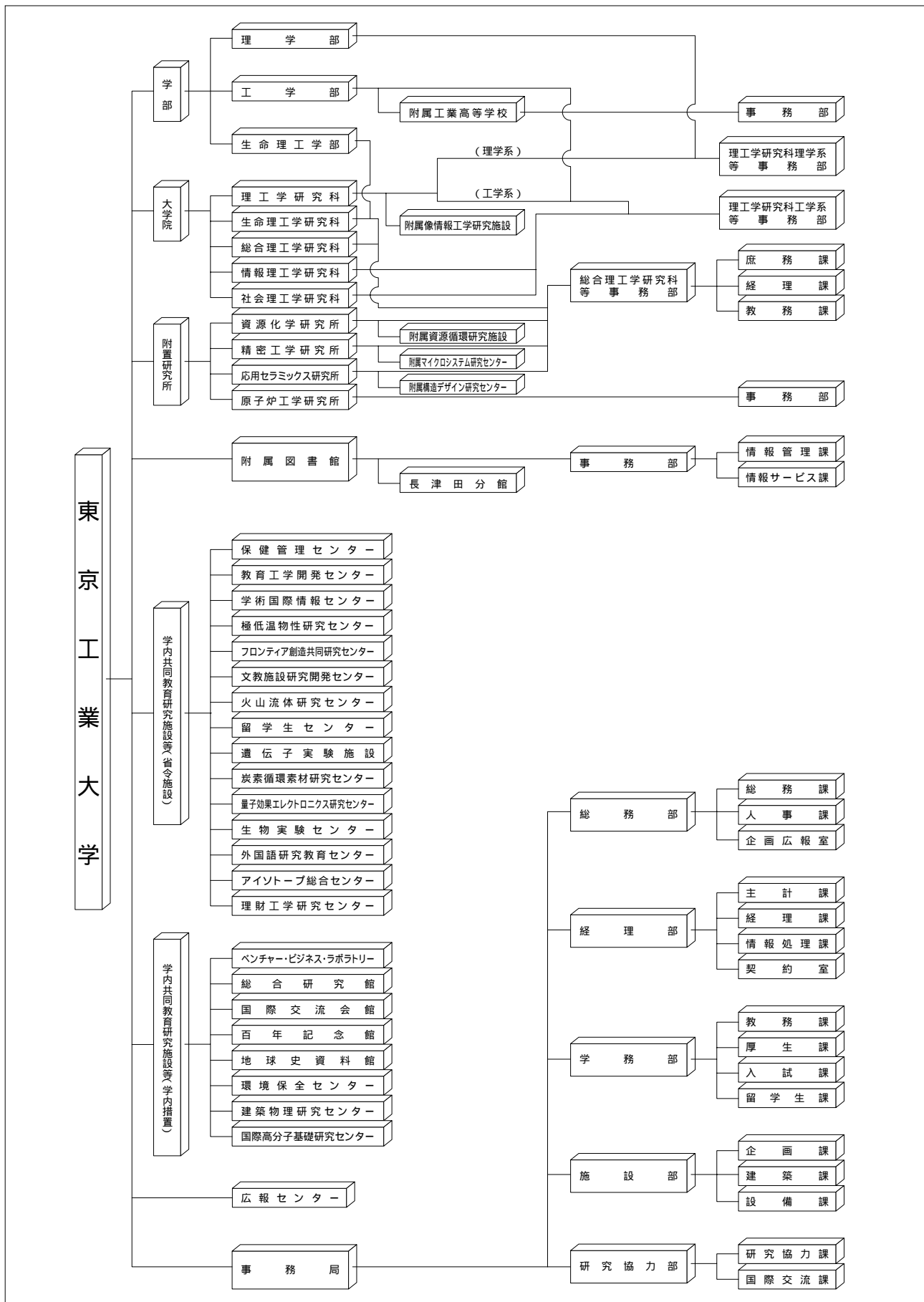
齋藤
附属図書館長



渡邊
事務局長



4 . 機構図



5 . 諸事項の変遷

(平成13年5月1日現在)

| 年度 | 学 部 | | 大 学 院 | | | | 土 地 | 建 物 | 蔵書数 | 經常費 決算額 |
|-----|------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------------------|--------------------------------|---------------------|-------------------|
| | 入学定員 | 卒業生数 | 修士課程 | | 博士後期課程 | | | | | |
| | | | 入学定員 | 修了生数 | 入学定員 | 修了生数 | | | | |
| 昭 4 | 150 ^人 | ^人 | ^人 | ^人 | ^人 | ^人 | ^{m²} | 3 834 ^{m²} | 21 525 ^冊 | 922 ^{千円} |
| 15 | 252 | 178 | | | | | 262 902 | 54 542 | 41 848 | 2 128 |
| 20 | 400 | 358 | | | | | 312 211 | 58 499 | 92 925 | 188 297 |
| 25 | 旧制 460 新制 300 | 392 | | | | | 312 211 | 58 499 | 92 925 | 188 297 |
| 30 | 355 | 335 | 135 | | 68 | 37 | 309 514 | 71 114 | 111 173 | 449 037 |
| 35 | 505 | 387 | 145 | 44 | 73 | 12 | 309 484 | 78 581 | 145 107 | 787 191 |
| 40 | 705 | 590 | 213 | 205 | 87 | 37 | 308 737 | 111 166 | 200 208 | 2 479 788 |
| 45 | 895 | 776 | 294 | 348 | 149 | 72 | 484 515 | 146 473 | 284 677 | 4 460 070 |
| 50 | 774 | 790 | 617 | 509 | 205 | 68 | 510 683 | 185 309 | 360 499 | 11 378 068 |
| 51 | 774 | 788 | 619 | 564 | 221 | 72 | 515 858 | 212 402 | 374 747 | 12 444 538 |
| 52 | 774 | 795 | 626 | 619 | 241 | 102 | 528 780 | 222 869 | 393 436 | 13 671 453 |
| 53 | 774 | 816 | 636 | 661 | 241 | 95 | 528 780 | 245 151 | 411 268 | 13 863 816 |
| 54 | 774 | 767 | 643 | 620 | 243 | 100 | 529 780 | 245 836 | 428 672 | 13 644 950 |
| 55 | 774 | 775 | 643 | 613 | 248 | 91 | 529 515 | 245 791 | 444 765 | 14 288 084 |
| 56 | 774 | 754 | 648 | 639 | 248 | 111 | 531 848 | 247 344 | 462 823 | 15 334 660 |
| 57 | 784 | 789 | 648 | 652 | 250 | 81 | 531 848 | 248 987 | 482 949 | 16 136 258 |
| 58 | 784 | 774 | 653 | 642 | 250 | 82 | 531 848 | 252 826 | 503 271 | 16 319 178 |
| 59 | 794 | 778 | 660 | 690 | 250 | 96 | 531 848 | 252 687 | 520 143 | 18 447 184 |
| 60 | 836 | 776 | 665 | 694 | 250 | 86 | 531 848 | 261 968 | 538 884 | 17 451 680 |
| 61 | 961 | 816 | 668 | 750 | 250 | 97 | 531 848 | 264 316 | 556 030 | 17 993 471 |
| 62 | 1 065 | 784 | 676 | 768 | 250 | 106 | 533 242 | 264 957 | 581 467 | 31 356 745 |
| 63 | 1 182 | 844 | 679 | 758 | 250 | 141 | 533 242 | 276 168 | 613 130 | 21 479 631 |
| 平元 | 1 182 | 909 | 681 | 810 | 250 | 115 | 533 242 | 277 672 | 646 099 | 20 957 011 |
| 平 2 | 1 182 | 1 107 | 720 | 840 | 250 | 139 | 533 242 | 277 672 | 647 330 | 23 215 776 |
| 平 3 | 1 222 | 1 172 | 720 | 940 | 250 | 153 | 532 533 | 286 831 | 691 026 | 24 109 456 |
| 平 4 | 1 277 | 1 174 | 798 | 970 | 287 | 152 | 532 533 | 286 831 | 700 299 | 28 095 902 |
| 平 5 | 1 277 | 1 154 | 818 | 988 | 287 | 181 | 532 533 | 319 404 | 718 195 | 32 279 081 |
| 平 6 | 1 277 | 1 202 | 868 | 1 113 | 304 | 206 | 535 239 | 319 404 | 732 794 | 29 809 781 |
| 平 7 | 1 317 | 1 282 | 908 | 1 154 | 331 | 253 | 535 239 | 319 404 | 750 172 | 34 181 384 |
| 平 8 | 1 297 | 1 329 | 997 | 1 215 | 372 | 255 | 535 239 | 325 360 | 764 654 | 31 119 213 |
| 平 9 | 1 257 | 1 297 | 1 036 | 1 313 | 401 | 323 | 535 239 | 336 130 | 786 722 | 34 326 668 |
| 平10 | 1 187 | 1 341 | 1 109 | 1 358 | 446 | 289 | 534 319 | 335 851 | 804 326 | 34 688 830 |
| 平11 | 1 123 | 1 328 | 1 196 | 1 356 | 494 | 337 | 534 223 | 356 500 | 824 062 | 35 916 269 |
| 平12 | 1 068 | 1 237 | 1 290 | 1 488 | 534 | 349 | 534 728 | 362 769 | 840 766 | 37 216 446 |
| 平13 | 1 068 | | 1 290 | | 534 | | 534 728 | 368 935 | 858 316 | |



1



2



3



4



5

百年記念館
 ワグネル博士記念碑（大岡山北地区）
 明治17年東京職工学校赴任。窯業科，染色科を中心に尽力。
 蔵前工業学園之蹟（台東区蔵前第六天榊神社境内）
 本学の前身の東京高等工業学校跡地
 百年記念館（特別展示室）
 手島精一先生像
 明治23年から25年間校長として尽力

6 . 職員数

1 . 部局別職員数

(平成13年5月1日現在)

| 区 分 | 教 官 | | | | | | | | | そ の 他 の 職 員 | | | | 合 計 |
|--------------------------|-----|-----|-----|----|-----|-------|----|--------------|----|-------------|-----|-----|-----|-------|
| | 学長 | 教授 | 助教授 | 講師 | 助手 | 小計 | 教諭 | 養護教諭 実習助手 | 小計 | 事務官 | 技官 | その他 | 小計 | |
| 事 務 局 | 1 | | | | | 1 | | | | 200 | 28 | 8 | 236 | 237 |
| 大学院理工学研究科(理学系)・理学部 | | 51 | 33 | | 64 | 148 | | | | 24 | 15 | | 39 | 187 |
| 大学院理工学研究科(工学系)・工学部 | | 104 | 103 | 1 | 123 | 331 | 45 | 9 | 54 | 83 | 43 | | 126 | 666 |
| 大 学 院 情報理工学研究科 | | 28 | 21 | 7 | 22 | 78 | | | | | | | | |
| 大 学 院 社会理工学研究科 | | 29 | 22 | 2 | 24 | 77 | | | | | | | | |
| 大 学 院 生命理工学研究科 | | 25 | 25 | 2 | 41 | 93 | | | | 74 | 41 | | 115 | 466 |
| 大 学 院 総合理理工学研究科 | | 45 | 40 | 4 | 37 | 126 | | | | | | | | |
| 資 源 化 学 研 究 所 | | 9 | 14 | | 26 | 49 | | | | | | | | |
| 精 密 工 学 研 究 所 | | 13 | 15 | | 18 | 46 | | | | | | | | |
| 応用セラミックス 研 究 所 | | 13 | 12 | 1 | 11 | 37 | | | | 8 | 8 | | 16 | 50 |
| 原子炉工学研究所 | | 9 | 10 | | 15 | 34 | | | | | | | | |
| 附 属 図 書 館 | | | | | | 0 | | | | 29 | | | 29 | 29 |
| 学 内 共 同 教 育 研 究 施 設 等 | | 37 | 26 | 3 | 14 | 80 | | | | 3 | 5 | 2 | 10 | 90 |
| 合 計 | 1 | 363 | 321 | 20 | 395 | 1,100 | 45 | 9 | 54 | 421 | 140 | 10 | 571 | 1,725 |

休職及び育児休業期間中の職員を除き，臨時的任用職員を含む。

2 . 寄附講座及び寄附研究部門

(平成13年5月1日現在)

| 区 分 | 客員教授 | 客員助教授 | 助手相当 | 小 計 |
|---------------|------|-------|------|-----|
| 大学院理工学研究科 | 3 | 1 | 2 | 6 |
| 精 密 工 学 研 究 所 | | 1 | 1 | 2 |
| 合 計 | 3 | 2 | 3 | 8 |



1



2



3



4



5



6



7

大岡山キャンパス

本館
 (理工学研究科等)
 石川台1号館
 大岡山西8号館(情報理工学研究科,
 学務部等)
 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー棟
 緑が丘1号館
 (土木工学専攻, 建築学専攻)
 大岡山北1号館
 (原子炉工学研究所)
 屋内運動場

7 . 学部 (3 学部 , 23 学科 , 40 学科目)

理学部 (5 学科 , 5 学科目)

| 学 科 | 学 科 目 | 授 業 科 目 例 |
|----------------------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 数 学 (1 学科目) | 数学 | 代数学概論 , 代数学 , 線形空間論 , 幾何学概論 , 幾何学 , 位相幾何学 , 解析概論 , 関数解析 , 応用解析 , 実解析 , 確率過程論 , 複素解析 , 微分方程式概論 |
| 物 理 学 (1 学科目) | 物理学 | 物理学実験 , 物質中の電磁気学 , 電磁場の古典論 , 化学物理 , 相対論的量子力学 , 基礎固体物理学 , 原子核物理学概論 , 光学・光物性 , 宇宙物理学概論 , 物性物理学概論 , 素粒子物理学概論 , 一般相対論 , 生物物理学概論 , 物理数学特論 , 解析力学 , 電磁気学 , 物理数学 , 現代物理学序論 , 物理実験学 , 量子力学 , 熱・統計力学 |
| 化 学 (1 学科目) | 化学 | 分析化学 , 化学基礎実験 , 安全の化学 , 無機化学 , 有機反応論 , 化学総合実験 , 物理化学 , 結晶化学 , 凝縮体化学 , 量子化学 , 物性化学 , 放射線化学 , 有機化学 , 天然物化学 , 合成有機化学 , 化学実験 |
| 情 報 科 学 (1 学科目) | 情報科学 | 集合と位相 , 応用線形代数 , 確率と統計 , 計算機科学概論 , 代数系 , 複素解析とフーリエ解析 , アルゴリズムとデータ構造 , 非線形解析学序論 , 数理論理学 , 数値解析 , 計画数学 , 情報理論 , オートマシンの数理言語論 , 計算機システム , 応用微分方程式論 , 組合せ理論 , データ解析 , 計算の理論 , コンパイラ , オペレーティングシステム |
| 地球惑星科学 (1 学科目) | 地球惑星科学 | 地球テクトニクス , 数値地球惑星科学 , 地球史 , 地震学 , 鉱物物性学 , 地惑実験 , 地惑巡検 , 地球惑星電磁気学 , 宇宙プラズマ物理学 , 太陽系物理学 , 惑星科学序論 , 地球惑星物理学序論 , 地球惑星物質学序論 , 宇宙化学 , 地球化学 , 地域内部物理学 |

工学部 (16 学科 , 22 学科目)

| 学 科 | 学 科 目 | 授 業 科 目 例 |
|-----------------------------------|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 金 属 工 学 (1 学科目) | 金属工学 | 物理化学 , 表面物理化学 , 構造材料 , 固体の変形 , 凝固現象と組織 , 金属の相変態 , 高温反応の熱力学 , 移動速度論 , 結晶回折 , 金属物性 , 結晶評価工学 , 材料解析 , 格子欠陥 , 高温プロセス工学 , 界面現象と反応速度 , エレクトロニクス材料工学 , 材料加工 |
| 有機材料工学 (1 学科目) | 有機材料工学 | 有機材料物性 , 有機材料物理化学 , 有機材料成形工学 , 有機材料合成化学 , 有機化学 , 量子材料物性 |
| 無機材料工学 (1 学科目) | 無機材料工学 | エレクトロニクス材料 , セラミック材料化学 , セラミックスプロセッシング , セラミックス基礎計測 , 結晶化学 , セラミックス電子物性 , 物理化学 , 分析化学 , 地質鉱物学 , 社会基盤セラミックス , 界面化学 , セラミックス概論 , セラミックス機械物性 , 無機化学 |
| 化 学 工 学 (2 学科目) | 化学工学 , 応用化学 | 基礎化学工学 , 化工数学 , 化工熱力学 , 化学 , プロセス工学 , 化工情報処理 , 化学プロセス設計実習 , 情報処理概論 , 反応工学 , 触媒化学 , 装置の設計と材料 , 材料科学 , 化学工学量論 , 移動論 , エネルギー操作 , 物質移動操作 , 機械的操作 , プロセス安全工学 , 化工プロセスシステム工学 , 環境保全プロセス概論 , 物理化学 , 触媒化学 , 量子化学 , 工業化学 , 無機化学 , 無機固体化学 , 有機化学 , 有機合成化学 |
| 高 分 子 工 学 (1 学科目) | 高分子工学 | 高分子計算化学 , 物理化学 , 高分子構造 , 高分子物性 , 有機化学 , 高分子化学 , 高分子工業化学 |
| 機 械 科 学 (1 学科目) | 機械科学 | 変形の力学 , 破損の科学 , 弾性力学 , 材料の科学 , 成形の力学 , 加工とプロセス , 独創機械設計 , 熱科学 , 熱輸送物理学 , 地球環境科学 , 流体科学 , 数値流体科学 , 機械運動システム学 , 機械要素 , 機械要素設計 , メカトロニクス・テクノロジー , 計算機援用工学 , 情報処理演習 , 工学数理解析 , 機械振動基礎論 , 機械の動力学と制御 , ラボラトリー・セミナー , 機械工作実習 |
| 機 械 知 能 シ ス テ ム 学 (1 学科目) | 機械知能システム学 | 知的統合生産システム , ジェオメトリー創出学 , 設計情報学 , ダイナミックシステム , メカトロニクス設計演習 , 工学図形情報 , 基礎熱流体学 , 伝熱学 , 工学数学 , 基礎流体力学 , 基礎トライボシステム , 熱流体エネルギーシステム , 基礎材料力学 , 固体システム学 , 一般材料力学 , 材料とその性質 , 材料物性 , 工業量子力学 |

| 学 科 | 学 科 目 | 授 業 科 目 例 |
|--------------------------|------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 機 械 宇 宙 学 (1 学 科 目) | 機械宇宙学 | 熱輸送学基礎, 熱エネルギーシステム学, 熱物質移動論, 固体力学基礎, 構造制御学, 破壊制御学, 材料物性基礎, 材料機能システム学, 極限材料プロセス学, ロボット工学基礎, メカトロニクス, 機械システム学, 振動波動学, 振動解析学, 流体力学基礎, 実在流体力学, 流体物理学 |
| 制御システム工 学 (1 学 科 目) | 制御システム工学 | 動的システム基礎, 現代制御論, デジタル制御, 計測制御数学, 自動制御, 流体制御システム, 計測・信号処理, 計測システム論, 創造設計第二, マイクロコンピュータ及び演習, 加工学基礎, 要素設計, 生産加工技術, 熱エネルギー変換学, 熱と流体の力学 |
| 経営システム工学 (2 学 科 目) | 管理技術, 数理システム基礎 | 経営管理論, 経済学概論, 会計情報論, 経営財務, 数理工学, 確率モデル, オペレーションズ・リサーチ, モデル化とOR, システム基礎 |
| 電気電子工学 (2 学 科 目) | 電気電子工学, 電子物理工学 | 半導体物性, 電子物理工学実験, 電子物性基礎論, 電気工学実験, 電力電子工学実験, 電気機器学, パワーエレクトロニクス, 電力工学, 光電工学, 高電圧・放電物性, 通信理論概論, 応用ベクトル解析, 電磁波, 電磁波伝送工学及び電波法, 基礎電気回路, 集積回路設計基礎論, 電気磁気学, 情報基礎学, 論理回路理論, 計算機論理設計, 基礎電気・情報数学, 光伝送工学, 磁性・誘電体物性, アナログ電子回路, 回路理論 |
| 情 報 工 学 (1 学 科 目) | 情報工学 | 計算機論理設計, 計算機アーキテクチャ, 論理回路理論, オペレーティングシステム, コンパイラ構成, 計算基礎論, オートマトンと言語, プログラミング, 情報基礎学, データベース・人工知能基礎, 数理論理学, 情報認識, 信号処理, 関数解析学, 計算機ネットワーク, 線形電子回路, 離散構造とアルゴリズム, 基礎集積回路, 集積回路設計, 情報ネットワーク設計論, 通信理論, デジタル通信, 代数系と符号理論 |
| 土 木 工 学 (1 学 科 目) | 土木工学 | 材料と部材の力学, 土質力学, 水環境計画, 水理学, 水文・河川工学, 海岸・海洋工学, 交通計画, 土木計画, 都市計画学, コンクリート工学, 鋼構造の設計, 空間デザイン, 構造力学 |
| 建 築 学 (1 学 科 目) | 建築学 | 建築史, 建築意匠, 建築計画, 建築構造力学, 建築一般構造, 建築構造設計, 建築生産 |
| 社 会 工 学 (4 学 科 目) | 都市計画・地域計画, 景観デザイン, 公共政策, 環境・経済システム | 都市計画概論, 住宅・土地政策, 国土と地域の計画, 空間設計の基礎, 公共システムのデザイン, 経済学の基礎理論, 環境経済・政策論, 社会システムの計画 |
| 開発システム工学 (1 学 科 目) | 開発システム工学 | 開発システム工学概論, 開発システム土木工学, 開発システム工業数学・演習, 開発システム電気情報工学, 開発システム工学コロキウム, 開発システム化学工学, 開発システム演習, 開発システム機械工学, メカトロ要素, 開発システム工学概論, 開発システムフィールドワーク |

生命理工学部 (2 学科, 13 学科目)

| 学 科 | 学 科 目 | 授 業 科 目 例 |
|------------------------|------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 生 命 科 学 (7 学 科 目) | 生化学, 細胞生物学, 生体反応学, 発生生物学, 情報生体科学, 生体物理化学, 生物科学 | 生物化学(生命科)第一, 分子生物学, 細胞生物学, 分子生物学第一, 微生物科学, 発生生物学, 生物学第一, 細胞構築学, 生体情報学, 物理化学(生命科)第一, 生物物理学, 生物学第二 |
| 生 命 工 学 (6 学 科 目) | 生物機能工学, 生物化学工学, 遺伝子工学, 細胞工学, 生体材料学, 生体システム学 | 生物化学(生命工)第一, 生物有機科学第一, 化学工学概論, 生物化学工学, 遺伝子工学, 生物工学基礎, 細胞工学, 分子生物学, 物理化学第一, 高分子科学, 有機化学(生命工)第一, 生物物理化学第一 |

学部学生の標準的な教育課程

学科所属

学士論文研究開始

| 第 1 学年 | | 2 | | 3 | | 4 | |
|-----------------------------------------------|---|---------|---|-----------|---|--------|---|
| 第 1 学期 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 文 系 基 礎 科 目 総 合 科 目 情 報 ネ ッ ト ワ ー ク 科 目 | | | | L ゼ ミ 科 目 | | | |
| 健康・スポーツ科目 | | 理工系広域科目 | | | | 学士論文研究 | |
| 環 境 教 育 科 目 | | | | | | | |
| F ゼ ミ 科 目 | | | | | | | |
| | | 基礎専門科目 | | | | | |
| 理工系基礎科目 | | | | | | | |
| 国際コミュニケーション科目Ⅰ，Ⅱ，上級 | | | | | | | |
| 教職に関する科目 | | | | | | | |

8．大学院（5研究科 43専攻，1研究施設）

理工学研究科（20専攻，1研究施設）

| 専攻名等 | 講座・研究部門等名 | 兼任教官等の所属する講座等名 |
|-------------|---------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 数 学 | 代数構造論，代数空間論，幾何学，位相数学，解析学，大域数学 | 計算機支援情報科学，数理科学 |
| 基 礎 物 理 学 | 基礎物理学理論，基礎物理学実験，境界領域基礎物理学 | |
| 物 性 物 理 学 | 量子物性物理学，統計固体物理学，応用物理学，分子物理学，量子基礎実験，新領域物性物理学 | 量子表面，極低温物性研究センター |
| 化 学 | 分子凝縮系化学，分子化学，有機化学，地球環境化学，エネルギー環境化学，火山化学 | 炭素循環素材研究センター，火山流体研究センター |
| 地 球 惑 星 科 学 | 地球惑星物理学，地球惑星進化学，太陽系創世学，宇宙探査学 | 火山流体研究センター |
| 物 質 科 学 | 物質構造，物質変換，物質設計，物質機能 | |
| 材 料 工 学 | 金属物理学，金属化学，材料設計工学，無機機能材料，無機環境材料，複合材料 | 材料構造機能，材料機能評価，環境適応型物質，超機能物質 |
| 有機・高分子物質 | 高分子科学，ソフトマテリアル，有機材料工学 | |
| 応 用 化 学 | 分子機能設計，化学反応設計 | |
| 化 学 工 学 | プロセス解析，プロセス設計，プロセス操作，情報解析 | 技術構造分析，学術国際情報センター |
| 機 械 物 理 工 学 | 熱流体科学，ダイナミクス調和工学，機械システム学，創成工学，構造システム科学 | 感性情報フロンティア，ニューフロンティア基礎，機械運動制御，精巧機器，エネルギー環境，エネルギー変換システム，エネルギー創造，人間環境情報学，情報環境基礎 |

| 専攻名等 | 講座・研究部門等名 | 兼任教官等の所属する講座等名 |
|---------------|-----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 機械制御システム | 知能工房学，材料機能システム学，エネルギー工学，動的システム学，計測制御学，システム制御，地球環境工学 | 炭素循環素材研究センター |
| 機械宇宙システム | 極限熱流体力学，構造設計学，機械創造学 | |
| 電気電子工学 | 自律システム工学，電力エネルギー，通信伝送工学，光デバイス工学，[エネルギー・マネージメント] | マルチメディア情報処理，教育工学，エネルギー創造，超高輝度光工学，進化情報デバイス，量子効果エレクトロニクス研究センター |
| 電子物理工学 | 先端電子工学，電気電子物性，集積デバイス，量子デバイス物理 | 進化情報デバイス，教育工学，量子効果エレクトロニクス研究センター |
| 集積システム | 先端情報システム，高機能集積システム，情報通信システム，知的ネットワーク | 情報統合システム学，認知機構学，教育工学，学術国際情報センター，理財工学研究センター |
| 土木工学 | 社会基盤工学，広域環境工学，国土計画工学，[鋼橋設計工学] | ニューフロンティア基礎，自然環境，統合情報環境学，情報環境設計学 |
| 建築学 | 建築基礎学，建築計画学，建築設計学，環境建築学，地域施設計画学 | 情報環境設計学，文教施設研究開発センター |
| 国際開発工学 | 国際環境，開発基盤工学，開発産業システム，国際共存 | 留学生センター |
| 原子核工学 | エネルギー工学，物質工学，システム・安全工学 | エネルギー変換システム，エネルギー環境システム，直接変換システム，超高輝度光工学，環境エネルギー工学，学術国際情報センター |
| 共通講座 | 広域理学(理学研究流動機構)，工学基礎科学 | |
| 像情報工学 研究施設 | 情報記録，像情報解析，像情報システム，応用画像，知的システム，[ヘルスケア情報] | |

[] 内は，寄附講座又は寄附研究部門
 印は，協力講座
 印は，客員講座

生命理工学研究科（5専攻）

| 専攻名 | 講座名 |
|----------|-----------------------------------|
| 分子生命科学 | バイオダイナミクス，バイオ構造化学，バイオ情報制御学，広域生命科学 |
| 生体システム | 情報・形態形成学，進化・統御学，細胞・発生生物学 |
| 生命情報 | 生命情報医科学，高次生命情報，生命情報工学，広域生命情報 |
| 生物プロセス | 細胞・分子工学，生体分子プロセス，生物機能工学 |
| 生体分子機能工学 | 生体分子物性，生体材料設計，生体機能制御工学，広域生体機能工学 |

印は，客員講座

総合理工学研究科（11専攻）

| 専攻名 | 基幹講座名 | 協力講座名 |
|------------|-----------------------------|-----------------------------------------------------|
| 物質科学創造 | 環境適応型物質 | 超機能物質，物質ダイナミクス |
| 物質電子化学 | 分子変換，物質エネルギー変換 | 錯体電子化学，触媒電子化学，有機電子化学，生物電子化学，電子分光化学，固体物性化学 |
| 材料物理学 | 材料構造機能，量子表面 | 超環境物質合成，低負荷物質合成，精密構造解析，電子活性物質，相乗機能物質，材料機能評価，材料構造設計 |
| 環境理工学創造 | 自然環境，社会環境 | 環境エネルギー工学，環境材料工学，環境構造工学，環境安全工学，環境化学システム |
| 人間環境システム | 人間環境評価，人間都市計画，ニューフロンティア基礎 | 都市空間，都市環境，景観工学，環境設備 |
| 創造エネルギー | エネルギー環境，エネルギー変換システム，エネルギー創造 | エネルギー環境システム，直接変換システム，超高輝度光工学 |
| 化学環境学 | 環境解析構築，環境プロセス化学 | 環境分子変換，化学プロセス計画，高分子プロセス，化学環境プロセス設計，環境調和分子設計，環境微生物工学 |
| 物理情報システム創造 | 未来型情報システム，進化情報デバイス | 情報像処理，イメージング工学，情報資源学，情報システム，創造光情報デバイス，感性情報フロンティア |
| 精密機械システム | 情報変換学，自動設計学 | 精密機構学，超精密測定学，精密加工学，精密伝達工学，機械運動制御，精巧機器 |
| 知能システム科学 | 知能システム基礎，複雑システム解析，創発システム | 知的機能形成，知覚認識機構，脳情報伝達，神経情報演算，システム解析，システム情報科学，生産システム |
| 電子機能システム | 新機能電子デバイス，新機能情報システム | 知的電子デバイス，波動応用機能デバイス，生体情報システム，物質情報フロンティア |

印は，大講座

情報理工学研究科（3専攻）

| 専攻名 | 大講座名（分野名） | 兼任教官等の所属する講座等 |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 数理・計算科学 | 計算機支援情報科学（計算機支援数理，ソフトウェア界面，数理情報科学），数理科学（離散数理，非線形数理，統計数理，計画数理），計算科学（ソフトウェア解析，ソフトウェア構成） | 学術国際情報センター |
| 計算工学 | 情報統合システム学（ソフトウェア環境学，マルチメディア情報処理），計算組織学（超高信頼性計算システム，非同期超並列アーキテクチャ），ソフトウェア機構学（ソフトウェア設計論，ソフトウェア論理学），認知機構学（知識工学，推論機構，計算言語学，情報認識機構） | 通信伝送工学，国際環境，開発基盤工学，外国語研究教育センター，学術国際情報センター |
| 情報環境学 | 統合情報環境学（現象の情報化と意思決定，情報環境制御論，情報政策科学，情報環境社会），人間環境情報学（人間環境情報，情報環境適応），情報駆動システム（自律分散協調システム，情報環境センシング），情報環境設計学（広域知識ベース，情報空間意匠論，知的情報基盤論） | 動的システム学，システム制御，材料機能システム学，計測制御学，国土計画工学，国際環境，計画理論 |

社会理工学研究科 (4 専攻)

| 専攻名 | 大講座名(分野名) | 兼担教官等の所属する講座等 |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 人間行動システム | 人間開発科学(認知学習科学, 教育システム開発, 科学技術人材養成, 教育評価), 行動システム(生体動態, 身心相関, 言語行為), 教育工学(学習メディア工学, 先端学習システム) | 外国語研究教育センター, 留学生センター, 学術国際情報センター, 教育工学開発センター |
| 価値システム | 価値論理(価値構造, 表象機能, 価値表象, 言説編成), 社会数理(社会システム, 社会数理, 社会計測), 決定過程論(社会的選択, 政経論理, 政治決定) | 外国語研究教育センター, 留学生センター |
| 経営工学 | 開発・生産流通工学(技術開発戦略基盤, 技術経営戦略工学, 生産・人間相関, プロセス評価), 財務経営工学(経営計算, 理財工学), 経営数理・情報(経営数理工学, 経営情報システム), 技術構造分析(技術発達動態分析, 科学社会連関分析, 科学技術相関) | 理財工学研究センター, 工学基礎科学 |
| 社会工学 | 国土・都市計画(都市計画, 国土システム), 公共システムデザイン(公共制度, 公共政策, 公共空間), 計画理論(計画システム, 社会計画, 計画支援数理) | 建築基礎学, 統合情報環境学, 情報環境設計学 |

印は, 協力講座

9 . 附置研究所 (4 研究所, 3 研究施設)

| 研究所 | 研究部門名(分野名) |
|----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 資源化学研究所 (13部門) 1 研究施設 | 無機資源, 新金属資源, 有機資源, 生物資源, 触媒化学, 高分子材料, 合成化学, 基礎測定, 生産設備, 計測制御, 化工設計, 光機能化学, [分子反応設計] 資源循環研究施設 |
| 精密工学研究所 (5 大部門) (2 部門) 1 研究施設 | 知能化工学(知覚情報処理, 認知機構, ヒューマンインターフェース), 極微デバイス(電子デバイス, 光デバイス, 波動応用デバイス), 精機デバイス(超微細加工, 精密機素, 集積マシン), 高機能化システム(制御システム, 動的システム, 知的システム), 先端材料(材料設計, 極限材料, 機能評価), [バイオティク集積工学], [極微メカノプロセス], {特許情報処理} マイクロシステム研究センター |
| 応用セラミックス研究所 (3 大部門) 1 研究施設 | セラミックス機能(超機能薄膜, 新機能開発, 量子機能, ソフトプロセス)[機能応用], セラミックス解析(熱解析, 結晶構造解析, 電子解析)[超構造解析], 材料融合システム(極限プロセス, 極限材料, 防災材料, 複合構造材料[融合材料]) 構造デザイン研究センター |
| 原子炉工学研究所 (3 大部門) | エネルギー工学(高密度エネルギー, 高温エネルギー, エネルギー変換, 複合機能流体), 物質工学(粒子線エネルギー, 燃料サイクル, 物質変換, 物質分離), システム・安全工学(超高速エネルギー, エネルギー材料, システム安全, システム構成) |

[] は, 客員部門

{ } は, 寄附研究部門

10．学内共同教育研究施設等

| センター等名称 | 設 置 目 的 |
|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 保健管理センター | 本学における保健管理に関する専門的業務を行い、学生及び職員の健康の保持増進を図る。 |
| 教育工学開発センター | 大学教育を中心に教育工学的手法によって教育の改善に関する研究、開発、実践を行う。 |
| 学術国際情報センター | 本センターにおける研究・教育用情報システム、学内ネットワークシステム等の運用管理及び関連する研究・開発を行う。また、情報を基盤とした国際共同研究を行い、諸外国との研究・教育に関する国際交流を推進する。 |
| 極低温物性研究センター | 本学内外の研究者の協力を得て、極低温下における物性及び理工学に関する研究を行う。 |
| フロンティア創造共同研究センター | 産・学・官の連携に基づく共同研究を大学主導で計画的に推進し、かつ、高い創造力と起業家精神を有する優れた学内の人材を支援し、ベンチャー企業の育成をする。 |
| 文教施設研究開発センター | 学校施設をはじめとする教育・学術・スポーツ・文化施設について、社会の進展に寄与する機能的、効果的な利用を図るための総合的な施設計画に関する研究開発を行う。 |
| 火山流体研究センター | 草津白根山をはじめ、全国の活動的火山において、化学的及び物理学的方法で総合的な火山学の研究を行うとともに、学生に観測、調査等の実習及び研究の場として利用させる。 |
| 留学生センター | 留学生に対する日本語教育等及びこれに必要な調査、研究を実施するとともに修学及び生活上の相談指導業務を体系的、総合的にを行い、また、留学交流に関する教育指導の充実発展に寄与する。 |
| 遺伝子実験施設 | 組換えDNA実験その他の遺伝子実験に関する教育研究を行うとともに、組換えDNA実験の促進と安全の確保を図る。 |
| 炭素循環素材研究センター | 地球温暖化に対処するため、CO ₂ の炭素の資源燃料化・再利用システムを研究するとともに、環境保全に係わる環境教育・広報活動を行う。 |
| 量子効果エレクトロニクス研究センター | ナノメートル構造で生じる量子効果による光・電子デバイスの飛躍的性能向上、新機能発現、そのための結晶成長・加工・デバイス集積化法を研究 |
| 生物実験センター | 生物に関する高度な研究と教育を行うとともに、実験用生物を適切に維持・管理し、かつ良質の実験環境を提供することにより、生物関連分野の進展に寄与する。 |
| 外国語研究教育センター | 言語一般及び個別言語について基礎理論研究及び応用研究を行い、言語コミュニケーション理論の発展及び異文化理解の深化を目指すとともに、本学における新しい言語教育システムの確立を図る。 |
| アイソトープ総合センター | 放射性同位元素等を利用する高度な教育研究を行うとともに、本学における放射性同位元素等に係る安全管理及び教育訓練に関し中心的役割を担い、もって教育研究の進展に資する。 |
| 理 財 工 学 研 究 セ ン タ ー | 産・官・学連携の下に、高度な数理・情報工学的諸方法を用いて、記入・財務に関し先端技術研究を推進するとともに、関係産業界への円滑な技術移転を図り、もって理財工学研究の発展に寄与する。 |

11．研究科・附置研究所附属研究施設

| 部 局 名 | 施 設 名 | 設 置 目 的 |
|-------------|----------------|------------------------------------------|
| 大学院理工学研究科 | 像情報工学研究施設 | 情報の像化及び像のプロセス技術に関する研究を行う。 |
| 資源化学研究所 | 資源循環研究施設 | 新しい生物機能を利用した資源リサイクルシステムの構築に関する研究を行う。 |
| 精密工学研究所 | マイクロシステム研究センター | 超高速・大容量の情報伝達・処理のための光電子システムの基礎技術の研究を行う。 |
| 応用セラミックス研究所 | 構造デザイン研究センター | バウンダリーデザインによるセラミックスの特性発現と信頼性向上に関する研究を行う。 |

12. 寄附講座及び寄附研究部門

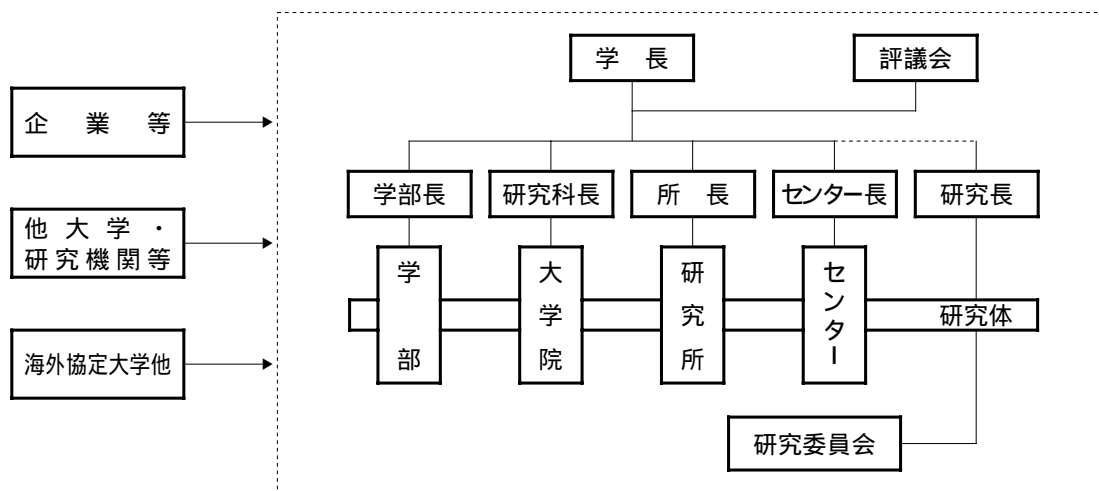
| 寄附講座・寄附研究部門 | 寄附者 | 設置期間 | 教育研究領域の概要 | 設置部局 |
|-------------------------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| ヘルスケア情報（凸版印刷）寄附研究部門 | 凸版印刷(株) | H9.11.1 H12.10.31 (3年) H12.11.1 H15.10.31 (3年) | ヘルスケア情報システムを社会インフラとして構築し、ヘルスケア情報の高度利用を可能にするための学問分野を確立する。 | 大学院理工学研究科 附属像情報工学研究施設 |
| 鋼橋設計工学（新日鐵，日本鋼管，川崎製鉄，住友金属，神戸製鋼）寄附講座 | 新日本製鐵(株)，日本鋼管(株)，川崎製鉄(株)，住友金属工業(株)，(株)神戸製鋼所 | H10.8.1 H13.7.31 (3年) | 構造材料の特性を十分に発揮できる新しい鋼橋の設計方法の確立を目指し，合理的な橋梁構造についての教育研究を行う。 | 大学院理工学研究科 土木工学専攻 |
| エネルギー・マネジメント（東京電力）寄附講座 | 東京電力(株) | H12.4.1 H15.3.31 (3年) | 地球環境に過大な負荷と影響を与えずに，限られたエネルギー資源を利用するという境界条件を満たす電力・エネルギーシステム技術に関わる教育研究を行う。 | 大学院理工学研究科 電気電子工学専攻 |
| 特許情報処理（JAPIO）寄附研究部門 | (財)日本特許情報機構 | H13.4.1 H15.3.31 (2年) | 特許情報データベースの効率的な利用を実現する，高品質な検索技術，高付加価値な特許情報提示技術等を包括する，特許を対象にした情報処理の理論と技術を総合的に体系化することを目指し，特許情報処理の基礎的研究及びその応用に関する研究を行う。 | 精密工学研究所 |

13. 研究体

現在，本学が持っている研究と教育のポテンシャルを十二分に発揮して従来の組織にとらわれない「科学技術の研究体」を横断的に組織し，創造プロジェクト研究を企画，推進するものであり，本構想による各プロジェクト研究は，本学教官グループの自由意志に基づいた特徴あるテーマの研究を，産業界及び官界の協力を得て，本学が学内組織として強力に推進するものである。各研究体は約10年間を目途に研究を進めている。

| 研究体名 | 研究長 | 設置時期 |
|-----------------------|-------------------|-------|
| 近未来健康社会システム | 大山 永昭 大学院理工学研究科教授 | 平成4年度 |
| 都市基盤施設 | 三木 千壽 大学院理工学研究科教授 | 平成4年度 |
| 21世紀に向けての超大規模集積回路自動設計 | 國枝 博昭 大学院理工学研究科教授 | 平成4年度 |

東京工業大学



14 . 工学部附属工業高等学校

(平成13年5月1日現在)

| 学 科 名 | 本 科 | | | | | | | | | | 専 攻 科 | | | | | | | |
|-------|----------|------|----|------|----|------|----|-----|----|-----|----------|------|---|------|---|-----|----|----|
| | 入学 定員 | 1 学年 | | 2 学年 | | 3 学年 | | 合 計 | | | 入学 定員 | 1 学年 | | 2 学年 | | 合 計 | | |
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 |
| 機 械 科 | 40 | | | 40 | 0 | 39 | 2 | 79 | 2 | 81 | 25 | 5 | 0 | 2 | 0 | 7 | 0 | 7 |
| 電 気 科 | 40 | | | 25 | 0 | 28 | 0 | 53 | 0 | 53 | 25 | 9 | 3 | 11 | 2 | 20 | 5 | 25 |
| 電 子 科 | 40 | | | 36 | 4 | 37 | 5 | 73 | 9 | 82 | 20 | | | | | | | |
| 工業化学科 | 40 | | | 35 | 6 | 30 | 6 | 65 | 12 | 77 | | | | | | | | |
| 建 築 科 | 40 | | | 23 | 9 | 26 | 9 | 49 | 18 | 67 | 20 | 2 | 4 | 6 | 7 | 8 | 11 | 19 |
| 1 年 次 | | 155 | 22 | | | | | 155 | 22 | 177 | 90 | | | | | | | |
| 計 | 200 | 155 | 22 | 159 | 19 | 160 | 22 | 474 | 63 | 537 | | | | | | | | |



機 械 科



電 気 科



電 子 科



工業化学科



建 築 科



すずかけ台キャンパス

総合研究館
 アイソトープ総合センター
 フロンティア創造共同研究センター
 大学院総合理工学研究科
 大学院生命理工学研究科
 応用セラミックス研究所・合同棟
 資源化学研究所・精密工学研究所

15 . 附属図書館

本学図書館は、昭和52年度に最初の理工学系外国雑誌センター館に指定され、他の分野（医学系等）の外国雑誌センター館と調整・協力しつつ、理学・工学・技術分野の外国学術雑誌の網羅的収集に努めている。近年、特に需要の増えている国際会議録、テクニカルレポートの収集にも力を注ぎ、収集した文献は全国の理工学系研究者に活用されている。国立情報学研究所が提供している相互貸借サービスシステム（NACSIS-ILL）等を利用した複写申し込みは、平成12年度で約27,000件に上る。電子図書館を立ち上げ、インターネット上での情報提供サービスの充実も図っている（<http://www.libra.titech.ac.jp/>）。

図書蔵書数

（平成13年3月31日現在）

| 区分 | | 総記 | 哲学 | 歴史 | 社会科学 | 自然科学 | 工学 | 産業 | 芸術 | 語学 | 文学 | 計 |
|-----|-------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 和漢書 | 図書（冊） | 11,063 | 18,883 | 21,806 | 56,728 | 94,456 | 112,513 | 14,876 | 9,064 | 8,128 | 25,596 | 373,113 |
| | 雑誌（種） | 96 | 23 | 39 | 327 | 1,778 | 1,695 | 707 | 35 | 25 | 139 | 4,864 |
| 洋書 | 図書（冊） | 14,471 | 9,139 | 6,324 | 35,152 | 223,255 | 154,998 | 7,065 | 9,332 | 8,537 | 16,930 | 485,203 |
| | 雑誌（種） | 32 | 23 | 17 | 267 | 5,628 | 6,369 | 219 | 63 | 39 | 42 | 12,699 |
| 計 | 図書（冊） | 25,534 | 28,022 | 28,130 | 91,880 | 317,711 | 267,511 | 21,941 | 18,396 | 16,665 | 42,526 | 858,316 |
| | 雑誌（種） | 128 | 46 | 56 | 594 | 7,406 | 8,064 | 926 | 98 | 64 | 181 | 17,563 |

開館時間

- ・授業期間 月～金 9:00～21:00 土・日・祝日 11:00～17:00
- ・創立記念日／夏期休業日／冬期休業日（年末年始を除く）臨時の休業日及び3月
月～金 9:00～17:00 土 11:00～17:00

| 平成12年度 | 本館（大岡山地区） | 分館（すすかけ台地区） | 計 |
|--------|-----------|-------------|----------|
| 入館者数 | 578,727人 | 101,145人 | 679,872人 |
| 館外貸出 | 102,653冊 | 25,036冊 | 127,689冊 |
| 座席数 | 570席 | 172席 | 742席 |



全 景



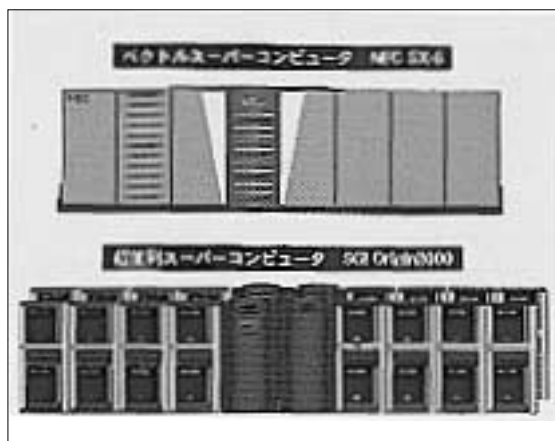
1 階 閲覧室

16．情報処理・ネットワークシステム

1．コンピュータシステム

Computer System

学術国際情報センターでは、スーパーコンピュータSGI Origin2000 (256 CPU, 約150GFLOPS), NEC SX-5 (16CPU, 128GFLOPS) が稼働している。センターではこの他に高性能スカラー計算サーバを本学研究者、大学院生に提供している。また、一般的情報処理教育のためにUNIXワークステーションとX端末を提供している。大岡山センターならびにすずかけ台分室に配置されたネットワークシステムはFDDI技術に基づいており、かつ、両キャンパス間の計算機はTitanet (TIT Academic Network) によって相互に接続されている。センターには、この他、画像処理システム、大容量・高速ファイルバックアップ装置が備えられている。



2．学内情報ネットワーク

大岡山地区及びすずかけ台地区を、単一モード光ファイバー 8 本をまとめて 1 条のケーブルとしたものを、東急大井町線・田園都市線沿いに敷設 (ケーブル長26.4km) し、テレビ信号やデータ信号を無中継伝送している。

2-1 キャンパス情報ネットワーク Titanet

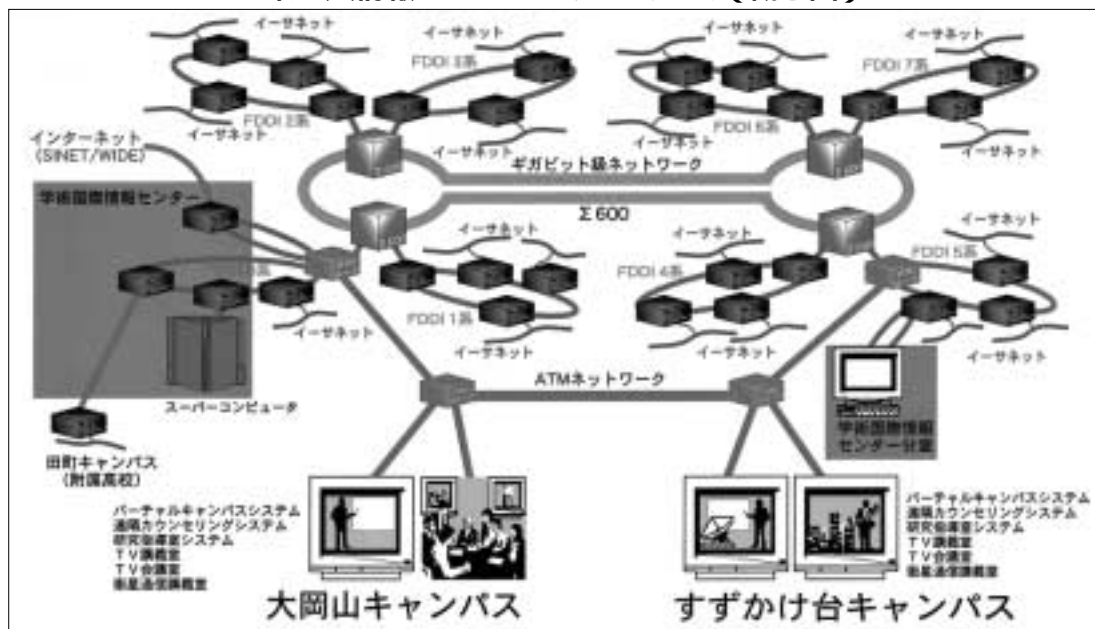
Titanetは平成6年度から運用を開始した東京工業大学キャンパス情報ネットワークである。本学の大岡山とすずかけ台の両キャンパス間を600Mbpsの帯域で接続、各キャンパス内の建物間を100Mbpsの帯域で接続している。さらにTitanetは、SINET及びWIDEと接続しており、インターネット上の世界中のコンピュータと通信をすることができる。

2-2 ATMマルチメディア・ネットワークシステム

平成8年度から、ATMマルチメディア・ネットワークシステムの運用を開始した。これは、大岡山地区とすずかけ台地区の距離を意識させない高度な教育・研究環境の提供を目指したもので、1) 映像音声交換システム、2) パーチャルキャンパスシステム、3) ATM基幹ネットワークシステム、4) 映像音声処理システム、の4つのサブシステムから構成される。

また、このATMマルチメディア・ネットワークシステムを流れる音声・映像情報は、映像音声処理システムによりTitanet上に送ることができる。

東工大情報ネットワークシステム (概念図)





1



2



3

モデル化学実験室（化学専攻）
脚式走行ロボット Runbot 2（機械制御システム専攻）
ハードディスクのコンタクトスライダの研究
（機械制御システム専攻）



4

地球史資料館夏休み特別企画「地球と遊ぼう」
（地球史資料館）
YSEP（本学短期留学生制度）
ファクトリー・スタディー・ツアー（留学生センター）
生体分子解析システム（大学院生命理工学研究科）

“地球上のいろいろな石の比重の違いを比べてみよう”



5



6

於：東京電力／南横浜発電所



1

分子線エピタキシー装置
(フロンティア創造共同研究センター)
高性能二重収束質量分析計(資源化学研究所)
真空加工システム室(精密工学研究所)



2



3

高速液体クロマトグラフィー高分解能質量分析装置
(大学院総合理工学研究科)
コンビナトリアルレーザー分子線エピタキシー装置
(フロンティア創造共同研究センター)
テラワット極短パルスレーザーシステムと時間分解
ピコ秒X線回折システム(応用セラミックス研究所)



4



5



6

17. 学生数等

1. 学部

(平成13年5月1日現在)

| 学部 | 学 科 | 入学 定員 | 在 学 生 数 | | | | | | | | | | 合計 | |
|----------------------------|-----------|----------|------------|----------|----------|----------|------------|---------|------------|----------|-------------|----------|-------------|---------|
| | | | 1 年次 | | 2 年次 | | 3 年次 | | 4 年次 | | 計 | | | |
| | | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | | |
| 理 学 部 | 数 学 | 25 | 200 1] | 19 | 22 | 0 | 27 | 1 | 52 | 0 | 101 | 1 | 102 | |
| | 物 理 学 | 54 | | | 58 1] | 6 | 61 1] | 6 | 67 | 4 | 188 2] | 16 | 204 2] | |
| | 化 学 | 37 | | | 27 | 4 | 35 | 2 | 50 | 3 | 112 | 9 | 121 | |
| | 応 用 物 理 学 | | | | | | | | 10 | 0 | 10 | 0 | 10 | |
| | 情 報 科 学 | 34 | | | 33 | 3 | 36 | 4 | 60 1] | 1 1] | 129 1] | 8 1] | 137 2] | |
| | 地球惑星科学 | 35 | | | 26 | 10 | 26 | 3 | 56 | 2 | 108 | 15 | 123 | |
| | 1 年 次 | | | | | | | | | | 200 1] | 19 | 219 1] | |
| | 計 | 185 | | | 200 1] | 19 | 168 1] | 23 | 185 1] | 16 | 295 1] | 10 1] | 848 4] | 68 1] |
| 工 学 部 | 金 属 工 学 | 33 | 86 | 12 | 27 | 2 | 30 | 5 | 44 1] | 2 | 101 1] | 9 | 110 1] | |
| | 有機材料工学 | 20 | | | 18 | 5 | 23 | 1 | 33 1] | 3 1] | 74 1] | 9 1] | 83 2] | |
| | 無機材料工学 | 30 | | | 32 | 4 | 26 | 6 | 38 | 4 | 96 | 14 | 110 | |
| | 化 学 工 学 | 70 | 118 2] | 20 | 52 | 13 | 64 2] | 17 | 73 1] | 17 | 187 3] | 47 | 234 3] | |
| | 高 分 子 工 学 | 30 | | | 24 | 5 | 31 | 8 | 38 | 5 | 93 | 18 | 111 | |
| | 機 械 科 学 | 52 | | | 55 1] | 3 | 53 1] | 3 | 54 | 6 | 164 2] | 12 | 174 2] | |
| | 機械知能システム学 | 40 | 214 9] | 10 1] | 37 1] | 3 | 40 | 0 | 54 | 2 | 131 1] | 5 | 136 1] | |
| | 機 械 宇 宙 学 | 40 | | | 39 | 4 1] | 49 | 6 | 49 | 1 | 137 | 1 1] | 148 1] | |
| | 制御システム工学 | 43 | | | 51 1] | 1 | 42 | 2 | 51 1] | 1 | 144 2] | 4 | 148 2] | |
| | 経営システム工学 | 36 | 250 14] | 11 6] | 34 1] | 3 1] | 35 | 7 2] | 47 2] | 4 1] | 114 3] | 14 4] | 128 7] | |
| | 電気・電子工学 | | | | | | 103 3] | 6 | 137 5] | 3 | 240 8] | 9 | 249 8] | |
| | 電子物理工学 | | | | | | 44 | 0 | 69 | 1 | 113 | 1 | 114 | |
| | 電気電子工学 | 82 | 106 2] | 33 1] | 78 3] | 8 1] | | | | | 78 3] | 8 1] | 86 4] | |
| | 情 報 工 学 | 102 | | | 104 5] | 7 | 74 3] | 4 1] | 88 6] | 8 1] | 264 14] | 17 2] | 281 16] | |
| | 土 木 工 学 | 34 | | | 30 | 2 | 29 1] | 4 | 48 1] | 5 1] | 105 2] | 11 1] | 116 3] | |
| | 建 築 学 | 45 | 774 27] | 88 8] | 33 | 18 2] | 35 3] | 21 | 52 3] | 19 1] | 120 6] | 58 3] | 178 9] | |
| | 社 会 工 学 | 36 | | | 26 | 9 | 43 | 3 | 47 1] | 7 | 118 2] | 19 | 135 2] | |
| | 開発システム工学 | 40 | | | 28 7] | 9 5] | 38 12] | 3 2] | 51 23] | 7 4] | 113 42] | 19 11] | 132 53] | |
| | 1 年 次 | *20 | 774 27] | 88 8] | | | | | | | 774 27] | 88 8] | 862 35] | |
| | 計 | 733 | 774 27] | 88 8] | 660 19] | 94 10] | 755 26] | 98 5] | 971 45] | 93 9] | 3,158 117] | 368 32] | 3,526 149] | |
| 生 命 理 工 学 部 | 生 命 科 学 | 75 | | | 57 1] | 13 | 68 | 14 1] | | | 125 1] | 25 1] | 150 2] | |
| | 生 命 工 学 | 75 | | | 67 2] | 19 | 78 3] | 23 2] | | | 143 5] | 42 2] | 185 7] | |
| | 生 命 理 学 | | | | | | | | 30 1] | 8 | 30 1] | 8 | 38 1] | |
| | 生 体 機 構 学 | | | | | | | | 34 | 7 | 34 | 7 | 41 | |
| | 生 物 工 学 | | | | | | | | 44 | 9 1] | 44 | 9 1] | 53 1] | |
| | 生体分子工学 | | | | | | | | 30 2] | 17 1] | 30 2] | 17 1] | 47 3] | |
| | 1 年 次 | *10 | | | 141 2] | 38 3] | | | | | | 141 2] | 38 3] | 179 5] |
| | 計 | 150 | | | 141 2] | 38 3] | 124 3] | 32 | 144 3] | 35 3] | 138 3] | 41 2] | 547 11] | 144 8] |
| 合 計 | | 1,068 | 1,113 30] | 141 11] | 950 23] | 148 10] | 1,084 30] | 147 8] | 1,404 49] | 144 12] | 4,551 132] | 581 41] | 5,132 173] | |

1. *印の定員は第3年次編入学定員

2. [] 内は留学生で内数

2. 大学院

(平成13年5月1日現在)

| 研究科 | 専攻名 | 修士課程 | | | | | | | | 修士総合計 | 博士後期課程 | | | | | | | | 博士後期総合計 | | |
|----------|-----------|------|-------|----|-----|----|-----|----|-----|-------|--------|-------|----|-----|----|----|----|----|---------|--|--|
| | | 入学定員 | 在学学生数 | | | | | | | | 入学定員 | 在学学生数 | | | | | | | | | |
| | | | 1年次 | | 2年次 | | 計 | | 1年次 | | | 2年次 | | 3年次 | | 計 | | | | | |
| | | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | | | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | | | |
| 理工学研究科 | 数 学 | 22 | 16 | 1 | 15 | 0 | 31 | 1 | 32 | 8 | 2 | 1 | 2 | 1 | 3 | 0 | 7 | 2 | 9 | | |
| | 基礎物理学 | 23 | 26 | 0 | 29 | 1 | 0 | 59 | 1 | 8 | 13 | 0 | 7 | 2 | 14 | 0 | 34 | 2 | 36 | | |
| | 物性物理学 | 35 | 33 | 3 | 31 | 0 | 64 | 3 | 67 | 12 | 5 | 2 | 3 | 0 | 7 | 1 | 15 | 3 | 18 | | |
| | 化学 | 35 | 27 | 10 | 29 | 10 | 56 | 20 | 76 | 12 | 5 | 2 | 6 | 1 | 5 | 1 | 16 | 4 | 20 | | |
| | 応用物理学 | | | | | | | | - | | | | | | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | | |
| | 地球惑星科学 | 19 | 15 | 3 | 15 | 5 | 30 | 8 | 38 | 7 | 1 | 0 | 1 | 1 | 12 | 3 | 26 | 4 | 30 | | |
| | 物質科学 | 29 | 30 | 6 | 27 | 4 | 57 | 14 | 71 | 10 | 4 | 0 | 4 | 3 | 1 | 0 | 17 | 4 | 20 | | |
| | 材料工学 | 36 | 48 | 2 | 37 | 10 | 85 | 14 | 99 | 13 | 6 | 3 | 10 | 0 | 9 | 2 | 29 | 5 | 30 | | |
| | 金属工学 | | | | | | | | - | | | | | | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | | |
| | 有機・高分子物質 | 46 | 40 | 7 | 49 | 14 | 85 | 19 | 104 | 15 | 14 | 1 | 18 | 4 | 19 | 4 | 51 | 12 | 63 | | |
| | 有機材料工学 | | | | | | | | - | | | | | | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | | |
| | 応用化学 | 20 | 21 | 6 | 19 | 4 | 40 | 10 | 50 | 7 | 11 | 1 | 9 | 1 | 6 | 1 | 26 | 1 | 27 | | |
| | 化学工学 | 26 | 25 | 5 | 30 | 2 | 59 | 6 | 65 | 9 | 1 | 1 | 6 | 1 | 14 | 4 | 19 | 6 | 25 | | |
| | 高分子工学 | | | | | | | | - | | | | | | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | | |
| | 機械工学 | | | | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | | | | | | 6 | 2 | 6 | 2 | 8 | | |
| | 生産機械工学 | | | | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | | | | | | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | | |
| | 機械物理工学 | 35 | 37 | 3 | 38 | 3 | 79 | 6 | 85 | 12 | 4 | 1 | 6 | 0 | 6 | 1 | 14 | 7 | 16 | | |
| | 制御工学 | | | | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | | | | | | 9 | 5 | 0 | 9 | 5 | | |
| | 機械制御システム | 43 | 57 | 4 | 48 | 4 | 103 | 8 | 111 | 15 | 8 | 0 | 6 | 0 | | | 14 | 7 | 14 | | |
| | 機械宇宙システム | 24 | 33 | 1 | 27 | 1 | 60 | 2 | 62 | 9 | 4 | 0 | 8 | 0 | | | 14 | 1 | 14 | | |
| | 電気・電子工学 | | | | 4 | 0 | 4 | 0 | 4 | | | | | | 19 | 10 | 0 | 19 | 10 | | |
| | 電気電子工学 | 27 | 40 | 4 | 34 | 0 | 73 | 8 | 73 | 10 | 3 | 0 | 1 | 5 | 0 | | 10 | 6 | 10 | | |
| | 電子物理工学 | 28 | 38 | 0 | 34 | 3 | 74 | 3 | 74 | 9 | 6 | 0 | 1 | 2 | 0 | 1 | 3 | 0 | 20 | | |
| | 集積システム | 27 | 44 | 8 | 29 | 2 | 77 | 10 | 75 | 10 | 11 | 3 | 0 | 1 | 0 | | 18 | 4 | 18 | | |
| | 土木工学 | 21 | 24 | 1 | 23 | 5 | 47 | 5 | 50 | 8 | 9 | 4 | 1 | 1 | 0 | 14 | 8 | 1 | 29 | | |
| | 建築学 | 32 | 29 | 9 | 34 | 1 | 64 | 4 | 85 | 11 | 5 | 2 | 1 | 6 | 0 | 7 | 1 | 18 | 2 | | |
| | 国際開発工学 | 24 | 20 | 4 | 27 | 1 | 47 | 11 | 62 | 9 | 3 | 1 | 4 | 0 | 1 | 0 | 13 | 6 | 19 | | |
| | 原子核工学 | 14 | 23 | 3 | 39 | 2 | 64 | 2 | 66 | 7 | 6 | 1 | 3 | 1 | 20 | 6 | 0 | 33 | 9 | | |
| | 計 | 566 | 624 | 23 | 683 | 61 | 146 | 78 | 138 | 201 | 12 | 25 | 20 | 5 | 13 | 36 | 16 | 74 | 129 | | |
| 生命理工学研究科 | バイオサイエンス | | | | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | | | | | | 2 | 2 | 2 | 2 | 4 | | |
| | バイオテクノロジー | | | | | | | | - | | | | | | 2 | 7 | 6 | 2 | 9 | | |
| | 分子生命科学 | 21 | 20 | 4 | 21 | 3 | 41 | 7 | 48 | 8 | 8 | 0 | 5 | 1 | 1 | 2 | 0 | 20 | 3 | | |
| | 生体システム | 18 | 21 | 4 | 14 | 7 | 35 | 11 | 46 | 6 | 4 | 4 | 1 | 1 | 2 | | 15 | 1 | | | |
| | 生命情報 | 18 | 21 | 6 | 24 | 1 | 43 | 2 | 55 | 6 | 14 | 1 | 3 | 1 | 14 | 1 | 1 | 36 | 3 | | |
| | 生物プロセス | 20 | 14 | 11 | 18 | 1 | 32 | 18 | 50 | 7 | 9 | 0 | 6 | 1 | 0 | | 15 | 1 | | | |
| | 生体分子機能工学 | 21 | 21 | 1 | 18 | 1 | 39 | 2 | 51 | 8 | 5 | 1 | 0 | 1 | 1 | 9 | 3 | 21 | 6 | | |
| | 計 | 98 | 97 | 2 | 34 | 1 | 95 | 3 | 192 | 5 | 3 | 2 | 1 | 4 | 6 | 1 | 4 | 15 | 23 | | |

| 研究科 | 専攻名 | 修士課程 | | | | | | | | 修士総合計 | 博士後期課程 | | | | | | | | 博士後期総合計 | | | | | | | | | | | | |
|----------|------------|-------|-------|----|-----|----|-------|----|------|-------|--------|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|---------|----|----|-----|-----|----|----|-------|-----|-----|----|-------|-----|
| | | 入学定員 | 在学学生数 | | | | | | 入学定員 | | 在学学生数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 1年次 | | 2年次 | | 計 | | | | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 計 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | | | | | | | | | | | | | |
| 総合理工学研究科 | 物質科学創造 | 27 | 41 | 1 | 43 | 1 | 3 | 84 | 1 | 4 | 88 | 1 | 22 | 12 | 2 | 9 | 1 | 0 | 29 | 8 | 1 | 50 | 11 | 3 | 53 | 11 | | | | | |
| | 物質電子化学 | 44 | 47 | 10 | 37 | 1 | 13 | 84 | 1 | 23 | 107 | 4 | 20 | 15 | 2 | 12 | 2 | 7 | 4 | 22 | 6 | 2 | 49 | 8 | 11 | 4 | 60 | 12 | | | |
| | 材料物理学 | 41 | 45 | 1 | 4 | 45 | 1 | 8 | 90 | 2 | 12 | 102 | 2 | 19 | 13 | 0 | 14 | 1 | 0 | 14 | 4 | 1 | 4 | 5 | 1 | 1 | 42 | 6 | | | |
| | 環境理工学創造 | 31 | 36 | 3 | 10 | 47 | 3 | 16 | 83 | 6 | 26 | 109 | 6 | 26 | 12 | 1 | 18 | 3 | 1 | 18 | 3 | 2 | 1 | 48 | 9 | 5 | 1 | 53 | 10 | | |
| | 人間環境システム | 44 | 32 | 13 | 38 | 3 | 17 | 2 | 70 | 3 | 30 | 2 | 100 | 5 | 18 | 6 | 1 | 10 | 3 | 3 | 10 | 2 | 4 | 1 | 26 | 5 | 8 | 1 | 34 | 6 | |
| | 創造エネルギー | 41 | 45 | 2 | 45 | 2 | 3 | 90 | 2 | 5 | 95 | 2 | 17 | 6 | 0 | 8 | 3 | 2 | 9 | 0 | 23 | 3 | 2 | 25 | 3 | 2 | 25 | 3 | | | |
| | 化学環境学 | 34 | 33 | 2 | 10 | 39 | 2 | 17 | 4 | 72 | 4 | 27 | 4 | 16 | 11 | 1 | 14 | 2 | 0 | 15 | 5 | 4 | 4 | 40 | 7 | 5 | 5 | 45 | 12 | | |
| | 物理情報工学 | | | | | | | | | - | | | | | | | | | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 物理情報システム創造 | 42 | 54 | 1 | 7 | 44 | 1 | 3 | 98 | 2 | 10 | 108 | 2 | 27 | 13 | 0 | 10 | 1 | 1 | 11 | 0 | 34 | 1 | 1 | 35 | 1 | 35 | 1 | | | |
| | 精密機械システム | 22 | 33 | 1 | 0 | 40 | 1 | 1 | 73 | 2 | 1 | 74 | 2 | 10 | 8 | 3 | 0 | 6 | 3 | 0 | 4 | 3 | 0 | 18 | 9 | 0 | 18 | 9 | | | |
| | 知能システム科学 | 76 | 60 | 4 | 4 | 61 | 2 | 2 | 121 | 6 | 6 | 127 | 7 | 31 | 19 | 6 | 0 | 23 | 2 | 1 | 21 | 6 | 0 | 63 | 14 | 1 | 1 | 64 | 15 | | |
| | 電子システム | | | | | | | | | - | | | | | | | | | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 電子機能システム | 31 | 35 | 2 | 5 | 32 | 1 | 3 | 67 | 3 | 8 | 75 | 3 | 13 | 3 | 1 | 3 | 1 | 0 | 3 | 1 | 0 | 9 | 2 | 1 | 10 | 2 | | | | |
| | 計 | 433 | 461 | 14 | 66 | 1 | 47 | 18 | 88 | 9 | 932 | 32 | 219 | 118 | 12 | 9 | 1 | 127 | 24 | 15 | 5 | 157 | 39 | 15 | 8 | 402 | 75 | 39 | 14 | 441 | 89 |
| 情報理工学研究科 | 数理・計算科学 | 28 | 22 | 1 | 5 | 31 | 2 | 1 | 53 | 1 | 7 | 60 | 2 | 10 | 9 | 1 | 1 | 4 | 0 | 17 | 1 | 3 | 2 | 30 | 2 | 4 | 2 | 34 | 4 | | |
| | 計算工学 | 34 | 46 | 3 | 4 | 1 | 38 | 4 | 4 | 2 | 84 | 7 | 12 | 15 | 5 | 4 | 2 | 13 | 3 | 0 | 16 | 6 | 3 | 2 | 44 | 14 | 7 | 4 | 51 | 18 | |
| | 情報環境学 | 36 | 40 | 2 | 3 | 33 | 2 | 11 | 73 | 4 | 14 | 87 | 4 | 13 | 3 | 1 | 6 | 2 | 1 | 1 | 8 | 2 | 0 | 17 | 4 | 2 | 1 | 19 | 5 | | |
| | 計 | 98 | 108 | 6 | 12 | 1 | 102 | 6 | 17 | 3 | 210 | 12 | 35 | 27 | 6 | 6 | 2 | 23 | 5 | 1 | 1 | 4 | 9 | 6 | 4 | 91 | 20 | 13 | 7 | 104 | 27 |
| 社会理工学研究科 | 人間行動システム | 24 | 23 | 2 | 8 | 21 | 6 | 44 | 2 | 14 | 58 | 2 | 11 | 4 | 1 | 7 | 5 | 1 | 13 | 8 | 24 | 1 | 14 | 1 | 38 | 2 | 38 | 2 | | | |
| | 価値システム | 12 | 21 | 2 | 4 | 1 | 19 | 3 | 9 | 3 | 40 | 5 | 9 | 6 | 1 | 2 | 1 | 9 | 1 | 4 | 2 | 27 | 1 | 4 | 2 | 42 | 3 | 10 | 5 | 52 | 8 |
| | 経営工学 | 31 | 28 | 5 | 5 | 2 | 37 | 4 | 2 | 1 | 65 | 9 | 13 | 6 | 2 | 2 | 8 | 4 | 2 | 2 | 17 | 3 | 2 | 1 | 3 | 9 | 6 | 3 | 37 | 12 | |
| | 社会工学 | 28 | 24 | 6 | 22 | 1 | 9 | 1 | 46 | 1 | 15 | 1 | 11 | 2 | 3 | 1 | 3 | 1 | 1 | 9 | 2 | 3 | 1 | 14 | 3 | 7 | 2 | 21 | 5 | | |
| | 計 | 95 | 96 | 9 | 23 | 3 | 99 | 8 | 26 | 5 | 195 | 17 | 44 | 18 | 4 | 8 | 2 | 27 | 6 | 12 | 5 | 66 | 6 | 17 | 4 | 111 | 16 | 37 | 11 | 148 | 27 |
| 合計 | | 1,290 | 1,388 | 54 | 201 | 9 | 1,384 | 81 | 235 | 31 | 2,770 | 135 | 534 | 328 | 49 | 50 | 11 | 358 | 77 | 57 | 22 | 533 | 121 | 68 | 25 | 1,219 | 247 | 175 | 58 | 1,394 | 305 |

(注) [] 内は留学生で内数

3. 研究生

(平成13年5月1日現在)

| 区 分 | 大学院 理工学 研究科 理学系 | 大学院 理工学 研究科 工学系 | 大学院 生命 理工学 研究科 | 大学院 総合 理工学 研究科 | 大学院 情報 理工学 研究科 | 大学院 社会 理工学 研究科 | 資 源 化 学 研究所 | 精 密 工 学 研究所 | 応用セラ ミックス 研 究 所 | 原子炉 工 学 研究所 | その他 | 合 計 |
|-----|--------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------|-------------------|-----------------------|-------------------|-----|-----|
| 日本人 | 19 | 31 | 12 | 5 | 12 | 11 | 1 | 3 | 5 | 3 | 1 | 103 |
| 外国人 | 2 | 32 | 4 | 8 | 12 | 7 | 3 | 4 | 3 | 1 | 6 | 82 |
| 合 計 | 21 | 63 | 16 | 13 | 24 | 18 | 4 | 7 | 8 | 4 | 7 | 185 |

その他は学術国際情報センター等学内共同教育研究施設

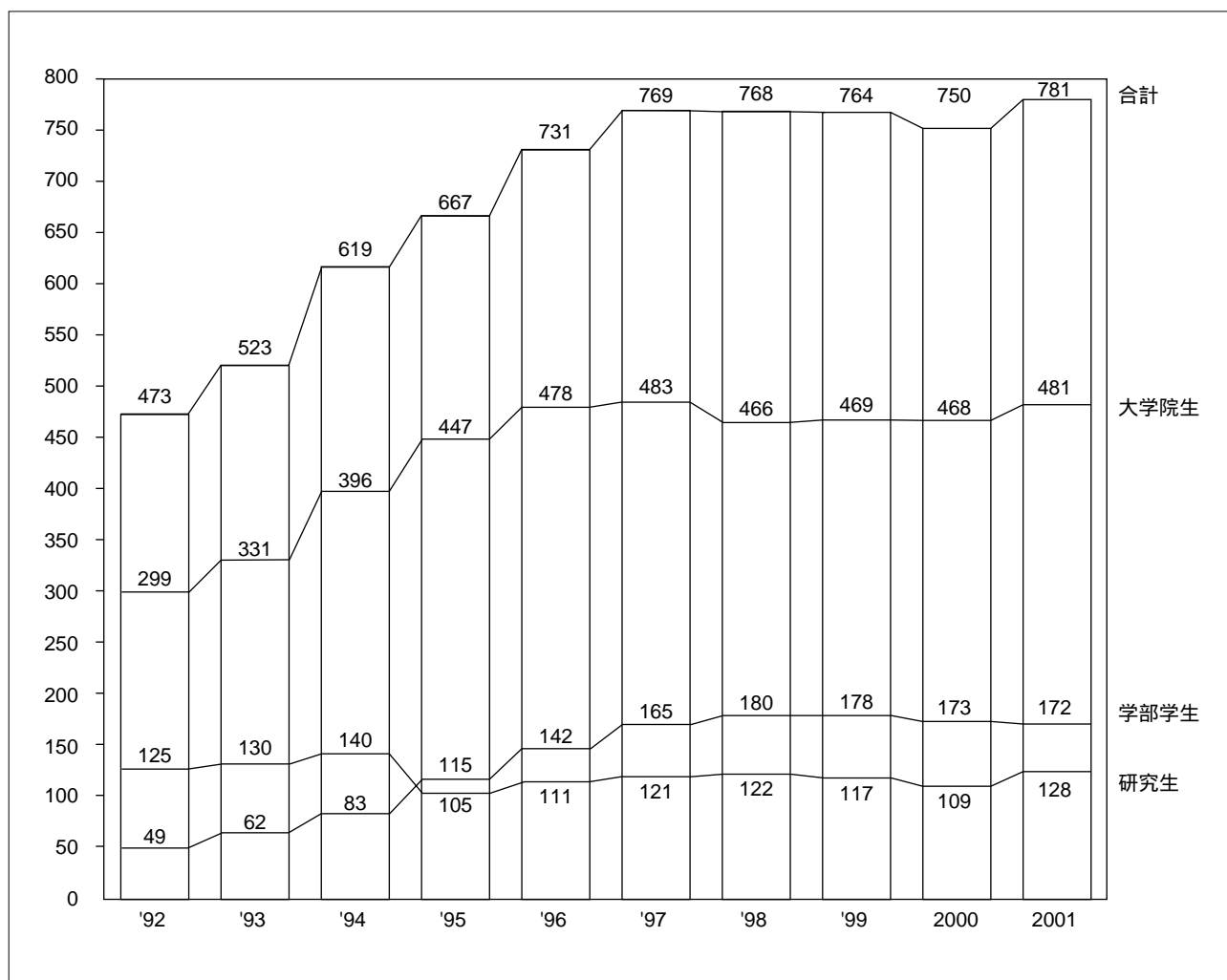
18. 留学生

(平成13年5月1日現在)

| | 国・地域名 | 学 部 | 修士課程 | 博士後期課程 | 研 究 生 | 計 |
|-------------------------------|----------------|-----|------|--------|-------|-----|
| ア ジ ア (681) | イラン・イスラム共和国 | 1 | 1 | 8 | 1 | 11 |
| | イスラエル国 | | | 1 | | 1 |
| | シリア・アラブ共和国 | | | 2 | | 2 |
| | インド | | | 3 | 2 | 5 |
| | インドネシア共和国 | 9 | 21 | 21 | 10 | 61 |
| | ヴェトナム社会主義共和国 | 10 | 5 | 5 | 2 | 22 |
| | ラオス人民民主共和国 | 2 | 2 | 1 | | 5 |
| | シンガポール共和国 | 6 | 2 | | 1 | 9 |
| | スリランカ民主社会主義共和国 | 1 | | 4 | 2 | 7 |
| | タイ王国 | 6 | 11 | 28 | 8 | 53 |
| | 大韓民国 | 11 | 25 | 89 | 29 | 154 |
| | 台湾 | 2 | 5 | 4 | 1 | 12 |
| | 中華人民共和国 | 81 | 63 | 67 | 37 | 248 |
| | モンゴル国 | 2 | 2 | 1 | | 5 |
| | パキスタン・イスラム共和国 | | | 4 | | 4 |
| | バングラデシュ人民共和国 | | 5 | 16 | 3 | 24 |
| | ネパール王国 | 3 | 3 | 4 | | 10 |
| | フィリピン共和国 | | | 4 | | 4 |
| | マレーシア | 26 | 8 | | 1 | 35 |
| | ミャンマー連邦 | 1 | | | | 1 |
| 大洋 (3) | トルコ共和国 | 1 | | 2 | 2 | 5 |
| | サウジアラビア王国 | 1 | | | 1 | 2 |
| | ヨルダン・ハシミテ王国 | | | 1 | | 1 |
| | オーストラリア | | | | 2 | 2 |
| | フィジー諸島共和国 | 1 | | | | 1 |
| | エジプト・アラブ共和国 | | | 8 | 2 | 10 |
| | チュニジア共和国 | | 1 | 1 | 1 | 3 |
| | モロッコ王国 | 2 | 1 | | | 3 |
| | アルジェリア民主人民共和国 | | 1 | | | 1 |
| | ナイジェリア連邦共和国 | | | 1 | | 1 |
| ア フリ カ (19) | セネガル共和国 | 1 | | | | 1 |
| | イタリア共和国 | | | | 1 | 1 |
| | クロアチア共和国 | | 1 | 1 | | 2 |
| | ギリシャ共和国 | | 1 | 3 | | 4 |
| | ドイツ連邦共和国 | | 1 | 2 | 3 | 6 |
| | ハンガリー共和国 | | | 1 | | 1 |
| | フランス共和国 | | 4 | 2 | 1 | 7 |
| | ポルトガル共和国 | 1 | | | | 1 |
| | ポーランド共和国 | | | 1 | | 1 |
| | オランダ王国 | | 1 | | 1 | 2 |
| ヨ ー ロ ッ パ (44) | マケドニア共和国 | | | 1 | | 1 |
| | エストニア共和国 | | | | 1 | 1 |
| | アイスランド共和国 | | | | 1 | 1 |
| | チェコ共和国 | | | 2 | | 2 |
| | スロバキア共和国 | | | | 1 | 1 |
| | ルーマニア | 2 | | 1 | | 3 |
| | ロシア連邦 | | 1 | 5 | 3 | 9 |
| | ベラルーシ共和国 | | | | 1 | 1 |
| | アメリカ合衆国 | | | | 3 | 3 |
| | メキシコ合衆国 | | 4 | 3 | 2 | 9 |
| 北 ア メ リ カ (21) | カナダ | | 1 | | 2 | 3 |
| | キューバ共和国 | | | 1 | | 1 |
| | エルサルバドル共和国 | | | | 1 | 1 |
| | グアテマラ共和国 | | 1 | 1 | 1 | 3 |
| | ホンジュラス共和国 | 1 | | | | 1 |
| | ブラジル連邦共和国 | | 2 | 5 | | 7 |
| | コロンビア共和国 | | 1 | | | 1 |
| | ペルー共和国 | 1 | | | | 1 |
| | チリ共和国 | | 1 | | | 1 |
| | アルゼンチン共和国 | | | 1 | | 1 |
| 南 ア メ リ カ (13) | ボリビア共和国 | | 1 | | | 1 |
| | エクアドル共和国 | | | | 1 | 1 |
| | 計 | 172 | 176 | 305 | 128 | 781 |

(注)「研究生」の中には、日本語研修生及び特別聴講学生を含む。

留学生数の変遷



東京工業大学大学院国際大学院コース入学状況（10月入学者）

（平成13年5月1日現在）

| 区 分 研究科名 | 平 成 7 年 度 | | | 平 成 8 年 度 | | | 平 成 9 年 度 | | |
|-------------|-----------|--------|----|-----------|--------|----|-----------|--------|----|
| | 修士課程 | 博士後期課程 | 計 | 修士課程 | 博士後期課程 | 計 | 修士課程 | 博士後期課程 | 計 |
| 理 工 学 研 究 科 | 15 | 16 | 31 | 16 | 14 | 30 | 9 | 15 | 24 |
| 生命理工学研究科 | 2 | 5 | 7 | 5 | 5 | 10 | 7 | 5 | 12 |
| 総合理工学研究科 | 3 | 3 | 6 | 5 | 6 | 11 | 3 | 3 | 6 |
| 情報理工学研究科 | 3 | 2 | 5 | 4 | 2 | 6 | 5 | 1 | 6 |
| 社会理工学研究科 | | | | 5 | 1 | 6 | 1 | 2 | 3 |
| 計 | 23 | 26 | 49 | 35 | 28 | 63 | 25 | 26 | 51 |

| 区 分 研究科名 | 平 成 10 年 度 | | | 平 成 11 年 度 | | | 平 成 12 年 度 | | |
|-------------|------------|--------|----|------------|--------|----|------------|--------|----|
| | 修士課程 | 博士後期課程 | 計 | 修士課程 | 博士後期課程 | 計 | 修士課程 | 博士後期課程 | 計 |
| 理 工 学 研 究 科 | 9 | 12 | 21 | 12 | 7 | 19 | 14 | 14 | 28 |
| 生命理工学研究科 | 3 | 5 | 8 | 2 | 3 | 5 | 1 | 5 | 6 |
| 総合理工学研究科 | 7 | 11 | 18 | 6 | 8 | 14 | 6 | 11 | 17 |
| 情報理工学研究科 | 3 | 0 | 3 | 2 | 2 | 4 | 2 | 2 | 4 |
| 社会理工学研究科 | 2 | 2 | 4 | 3 | 2 | 5 | 0 | 1 | 1 |
| 計 | 24 | 30 | 54 | 25 | 22 | 47 | 23 | 33 | 56 |

課外活動



ボート部
アメリカンフットボール部
ワンダーフォーゲル部



コールライネス
マイスター
サイクリング部（レース班）



鳥人間コンテスト 4位（2000夏）



第41回東日本学生選手権自転車競技大会
男子1kmタイム・トライアル 1位

19. 研究員等

研究員

(平成12年度)

| 部 局 名 | 受託 研究員 | 民間等共同 研究員 | 私学研 修員等 | 科学教育研 究室研究生 | 文部省内地 研究員等 | プロジェクト 研究員 | 日本学術振興会特別研究員 | | | | 合 計 |
|-------------------------------|-----------|--------------|------------|----------------|---------------|---------------|--------------|------|------|-----|-----|
| | | | | | | | PD | DC 2 | DC 1 | 計 | |
| 大学院理工学研究科(理学系) | 2 | 1 | | | | | 15 | 8 | 18 | 41 | 44 |
| 大学院理工学研究科(工学系) | 11 | 16 | | | 1 | | 5 | 6 | 21 | 32 | 60 |
| 大学院生命理工学研究科 | 7 | 5 | | | | 4 | 9 | 4 | 13 | 26 | 42 |
| 大学院総合理工学研究科 | 1 | 19 | | | | | 7 | 5 | 5 | 17 | 37 |
| 大学院情報理工学研究科 | | 22 | | | | | 2 | | 2 | 4 | 26 |
| 大学院社会理工学研究科 | | | | 2 | 1 | | 3 | 2 | 1 | 6 | 9 |
| 資源化学研究所 | 1 | 8 | | | | 4 | 4 | 4 | 7 | 15 | 28 |
| 精密工学研究所 | 3 | 5 | | | 1 | | | 1 | 3 | 4 | 13 |
| 応用セラミックス研究所 | 3 | 2 | | | | | 1 | 2 | 3 | 6 | 11 |
| 原子炉工学研究所 | | 31 | | | | | | 1 | | 1 | 32 |
| 教育工学開発センター | | | | 1 | | | | | 1 | 1 | 2 |
| 理工学国際交流センター (現 学術国際情報センター) | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| フロンティア創造共同研究センター | 1 | 15 | | | | | 2 | | 1 | 3 | 19 |
| 遺伝子実験施設 | | | | | | 1 | | | | | 1 |
| 量子効果エレクトロ ニクス研究センター | | | | | | | | 1 | | 1 | 1 |
| 生物実験センター | | | | | | | | | 1 | 1 | 1 |
| 計 | 29 | 125 | 0 | 3 | 3 | 9 | 48 | 34 | 76 | 158 | 327 |

(注) 日本学術振興会特別研究員は、新規採用及び継続を含む。

客員研究員

(受入別) (平成12年度の延人数) (国・地域別)

| 部 局 名 | 人数 | 国・地域名 | 人数 | 国・地域名 | 人数 |
|-------------------------------|-----|--------------|----|---------------|-----|
| 大学院理工学研究科(理学系) | 31 | バングラデシュ人民共和国 | 4 | ニュージーランド | 1 |
| 大学院理工学研究科(工学系) | 91 | 中華人民共和国 | 48 | アルジェリア民主人民共和国 | 2 |
| 大学院生命理工学研究科 | 12 | インド | 12 | カメルーン共和国 | 1 |
| 大学院総合理工学研究科 | 17 | イラン・イスラム共和国 | 1 | エジプト・アラブ共和国 | 3 |
| 大学院情報理工学研究科 | 22 | インドネシア共和国 | 7 | ベルギー王国 | 1 |
| 大学院社会理工学研究科 | 9 | イスラエル国 | 4 | チェコ共和国 | 1 |
| 資源化学研究所 | 5 | 日本国 | 6 | フィンランド共和国 | 3 |
| 精密工学研究所 | 5 | 大韓民国 | 41 | フランス共和国 | 9 |
| 応用セラミックス研究所 | 12 | モンゴル国 | 2 | ドイツ連邦共和国 | 13 |
| 原子炉工学研究所 | 22 | フィリピン共和国 | 11 | ギリシャ共和国 | 1 |
| 量子効果エレクトロニクス研究センター | 3 | シンガポール共和国 | 3 | ハンガリー共和国 | 4 |
| 理工学国際交流センター (現 学術国際情報センター) | 5 | タイ王国 | 4 | アイルランド | 1 |
| フロンティア創造共同研究センター | 6 | トルコ共和国 | 3 | イタリア共和国 | 3 |
| 計 | 240 | ベトナム社会主義共和国 | 3 | オランダ共和国 | 3 |
| | | 台湾 | 2 | ポーランド共和国 | 2 |
| | | オーストラリア | 1 | ルーマニア | 2 |
| | | | | 計(44か国) | 240 |

20 . 国際交流

学術交流協定締結大学等一覧（大学間協定 :71機関）

平成13年5月1日現在

| 国 名 | 協定締結相手大学等名 | 開始年月 | 協定の主な内容 |
|-----------------|-------------------|----------|-----------|
| 中 華 人 民 共 和 国 | ハルビン工業大学 | 1980 .10 | 教 , 学 , 情 |
| | 清華大学 | 1985 . 4 | 教 , 学 , 情 |
| | 上海交通大学 | 1991 . 8 | 教 , 学 , 情 |
| | 北京大学 | 1991 . 8 | 教 , 学 , 情 |
| | 西安交通大学 | 1991 . 8 | 教 , 学 , 情 |
| | 浙江大学 | 1993 . 9 | 教 , 学 , 情 |
| | 北京理工大学 | 1993 .12 | 教 , 学 , 情 |
| | 中国科学技術大学 | 1997 . 9 | 教 , 学 , 情 |
| イ ン ド | インド工科大学デリー校 | 1994 . 7 | 教 , 学 , 情 |
| イ ン ド ネ シ ア | バンドン工科大学 | 1988 . 6 | 教 , 学 , 情 |
| | インドネシア大学 | 1992 .12 | 教 , 学 , 情 |
| | ガジャマダ大学 | 2000 . 2 | 教 , 学 , 情 |
| イ ス ラ エ ル | イスラエル工科大学 | 1991 .12 | 教 , 学 , 情 |
| イ ラ ン | シャリフ工科大学 | 2000 .11 | 教 , 学 , 情 |
| 大 韓 民 国 | 韓国科学技術院 | 1986 . 5 | 教 , 学 , 情 |
| | 韓国科学技術研究院 | 1991 .12 | 教 , 学 , 情 |
| | 韓国海洋大学 | 1992 . 7 | 教 , 学 , 情 |
| | 高麗大学 | 1992 . 9 | 教 , 学 , 情 |
| | 慶北大学 | 1993 . 7 | 教 , 学 , 情 |
| | 全北国立大学 | 1995 . 4 | 教 , 学 , 情 |
| | 漢陽大学 | 1996 . 4 | 教 , 学 , 情 |
| フ ィ リ ピ ン | デラサール大学 | 1992 . 5 | 教 , 学 , 情 |
| | フィリピン大学 | 1992 . 8 | 教 , 学 , 情 |
| シ ン ガ ポ ー ル | シンガポール大学 | 1991 . 2 | 教 , 学 , 情 |
| タ イ | チュラロンコン大学 | 1985 .10 | 教 , 学 , 情 |
| | キングモンクット工科大学ラカパン校 | 1992 .11 | 教 , 学 , 情 |
| | タマサート大学 | 1996 . 3 | 教 , 学 , 情 |
| | カセサート大学 | 1996 .12 | 教 , 学 , 情 |
| 台 湾 | 国立成功大学 | 1997 .11 | 教 , 学 , 情 |
| | 国立清華大学 | 1998 .11 | 教 , 学 , 情 |
| | 国立台湾大学 | 1999 . 1 | 教 , 学 , 情 |
| ト ル コ | 中東工科大学 | 1992 .12 | 教 , 学 , 情 |
| | ボアージチ大学 | 1998 . 3 | 教 , 学 , 情 |
| ベ ト ナ ム | ハノイ工科大学 | 1995 . 8 | 教 , 学 , 情 |
| | ハノイ大学 | 1995 . 8 | 教 , 学 , 情 |
| | ハノイ数学研究所 | 1995 . 8 | 教 , 学 , 情 |
| オ ー ス ト ラ リ ア | メルボルン大学 | 1994 . 8 | 教 , 学 , 情 |
| オ ー ス ト リ ア | ヨハネス・ケプラー大学 | 1997 . 8 | 教 , 学 , 情 |
| ベ ル ギ ー | ゲント大学 | 1992 . 9 | 教 , 学 , 情 |
| | ブラッセル自由大学 | 1994 . 5 | 教 , 学 , 情 |
| デ ン マ ー ク | デンマーク工科大学 | 1992 . 9 | 教 , 学 , 情 |
| フ ィ ン ラ ン ド | ヘルシンキ工科大学 | 1995 .10 | 教 , 学 , 情 |
| | ラッペンランタ工科大学 | 1998 . 4 | 教 , 学 , 情 |
| フ ラ ン ス | 国立ボンゼシヨセ大学 | 1992 . 9 | 教 , 学 , 情 |
| ド イ ツ 連 邦 共 和 国 | ミュンヘン工科大学 | 1982 . 7 | 学 |
| | シュツツツガルト大学 | 1992 . 4 | 教 , 学 , 情 |
| イ タ リ ア | ボローニヤ大学 | 1997 . 3 | 教 , 学 , 情 |
| | ローマ大学 | 1998 . 9 | 教 , 学 , 情 |
| オ ラ ン ダ | ライデン大学 | 1995 . 9 | 教 , 学 , 情 |
| ノ ル ウ ェ ー | ノルウェー工科・自然科学大学 | 1993 . 2 | 教 , 学 , 情 |
| ロ シ ア | モスクワ物理工科大学 | 1993 . 6 | 教 , 学 , 情 |
| | ノボシビルスク国立大学 | 1999 .11 | 教 , 学 , 情 |
| ス ウ ェ ー デ ン | スウェーデン王立工科大学 | 1991 . 9 | 教 , 学 , 情 |
| | シャルマーズ工科大学 | 1992 .10 | 教 , 学 , 情 |

| 国・地域名 | 協定締結相手大学等名 | 開始年月 | 協定の主な内容 |
|---------------|-------------------------|-----------|---------|
| ス イ ス | スイス連邦工科大学 | 1978 . 9 | 教, 学, 情 |
| 連 合 王 国 | マンチェスター工科大学 | 1979 . 5 | 教, 学, 情 |
| | インペリアルカレッジ | 1992 . 9 | 教, 学, 情 |
| | ストラスクライド大学 | 1993 . 2 | 教, 学, 情 |
| | リーズ大学 | 1993 . 3 | 教, 学, 情 |
| | サレイ大学 | 1993 . 9 | 教, 学, 情 |
| | ケンブリッジ大学チャーチルカレッジ | 2001 . 3 | 教, 情 |
| | アルバータ大学 | 1995 . 5 | 教, 学, 情 |
| ア メ リ カ 合 衆 国 | ワシントン大学 | 1974 . 5 | 教, 学, 情 |
| | カリフォルニア大学 | 1988 . 4 | 教, 学 |
| | オレゴン州立大学 | 1992 . 7 | 教, 学, 情 |
| | ウィスコンシン大学マディソン校 | 1992 . 8 | 教, 学, 情 |
| | メーランド大学ボルティモア校、カレッジパーク校 | 1992 . 11 | 教, 学, 情 |
| | オハイオ州立大学 | 1993 . 6 | 教, 学, 情 |
| | ジョージア工科大学 | 2001 . 1 | 教, 学, 情 |
| | サンパウロ大学 | 1991 . 5 | 教, 学, 情 |
| ブ ラ ジ ル | ブラジル航空工科大学 | 1992 . 10 | 教, 学, 情 |

教：教官，研究者交流 学：学生交流 情：学術情報交換

学術交流協定締結大学等一覧（部局間協定：35機関）

平成13年5月1日現在

| 国 名 | 協定締結相手大学等名 | 開始年月 | 本 学 関 係 部 局 | 協定の主な内容 |
|---------------|---------------------------|-----------|--------------------|---------|
| 中 華 人 民 共 和 国 | 北京科学技術大学（旧北京鋼鉄学院） | 1980 . 8 | 工学部，大学院総合理工学研究科 | 教, 情 |
| | 北京科学技術大学物理化学科 | 1996 . 12 | 原子炉工学研究所 | 教, 学, 情 |
| | 清華大学力学関係交流会 | 1989 . 1 | 工学部・機械系学科 | 教, 学, 情 |
| | 浙江大学土木工程学系 | 1993 . 11 | 工学部・土木工学科 | 教, 学, 情 |
| | 北京理工大学機電一体化中心 | 1986 . 9 | 工学部制御システム工学科北川研究室 | 教, 学, 情 |
| イ ン ド ネ シ ア | インドネシア原子力庁 | 1997 . 6 | 原子炉工学研究所 | 教, 情 |
| 大 韓 民 国 | 韓国科学技術院先端原子力工学研究センター | 1993 . 8 | 原子炉工学研究所 | 教, 情 |
| | 韓国科学技術院材料界面科学技術研究センター | 1996 . 5 | 工学部・無機材料工学科 | 教, 情 |
| | ソウル大学分子触媒研究センター | 1996 . 5 | 応用セラミックス研究所 | 教, 情 |
| | ソウル大学機械宇宙工学科 | 1999 . 4 | 工学部・機械科学科 | 教, 学, 情 |
| | 延世大学工学部化学工学科 | 1999 . 9 | 大学院理工学研究科国際開発工学専攻 | 教, 学, 情 |
| | 朝鮮大学校輸送機械部品工場自動化研究所 | 1998 . 11 | 工学部・機械科学科 | 教, 学, 情 |
| フ ィ リ ピ ン | フィリピン大学土木関係学科等 | 1993 . 4 | 工学部・土木工学科 | 教, 学, 情 |
| オーストラリア | シドニー工科大学 | 1998 . 4 | 工学部，大学院社会理工学研究科 | 学, 情 |
| | ロイヤル・メルボルン工科大学建設環境工学部建築学科 | 1999 . 8 | 工学部・建築学科 | 教, 学, 情 |
| フ ラ ン ス | パリ建築大学ヴィレット校 | 2000 . 7 | 工学部 | 学 |
| ドイツ連邦共和国 | ボール・ドゥルード固体物理学研究所 | 1994 . 9 | 量子効果エレクトロニクス研究センター | 教, 情 |
| | ケルン大学数理学研究科 | 1997 . 12 | 大学院総合理工学研究科 | 学 |
| | カールスルーエ研究所 | 1998 . 2 | 原子炉工学研究所 | 教, 情 |
| | カールスルーエ研究所 | 2000 . 7 | 精密工学研究所 | 教, 情 |
| | ミュンヘン大学人間学研究センター | 2001 . 5 | 大学院総合理工学研究科 | 教, 学, 情 |
| イ タ リ ア | カタニーヤ大学工学部 | 1997 . 6 | 工学部 | 学 |
| | トリノ工科大学 | 1999 . 7 | 大学院総合理工学研究科 | 教, 学, 情 |
| オ ラ ン ダ | トウェンテ大学化学技術学科 | 1996 . 6 | 大学院総合理工学研究科 | 学 |
| | デルフト工科大学情報システム学部 | 1998 . 9 | 工学部，大学院社会理工学研究科 | 学 |
| | デルフト工科大学建築学部 | 2000 . 8 | 工学部 | 学 |
| ボ ー ラ ン ド | プロツワフ工大希土類元素無機化学・冶金研究所 | 1995 . 3 | 原子炉工学研究所 | 教, 学, 情 |
| ロ シ ア | ロシア科学センタークルチャフ研究所 | 1992 . 8 | 原子炉工学研究所 | 教, 情 |
| | オブニンスク原子力工科大学 | 1998 . 1 | 原子炉工学研究所 | 教, 学, 情 |
| ス ウ ェ ー デ ン | リンシェーピング大学工学研究科 | 1997 . 9 | 大学院情報理工学研究科 | 学 |
| | ルンド大学工学部 | 1997 . 11 | 工学部 | 学 |
| アメリカ合衆国 | ワシントン大学建築都市計画学部建築学科 | 1978 . 1 | 工学部・建築学科 | 教, 情 |
| | マサチューセッツ工科大学機械工学科 | 1991 . 6 | 工学部・制御システム工学科 | 教, 学, 情 |
| | マサチューセッツ工科大学機械工学科 | 1996 . 5 | 工学部・機械宇宙学科 | 教, 学, 情 |
| | スタンフォード大学機械工学科 | 1999 . 10 | 工学部・機械系4学科 | 教, 学, 情 |

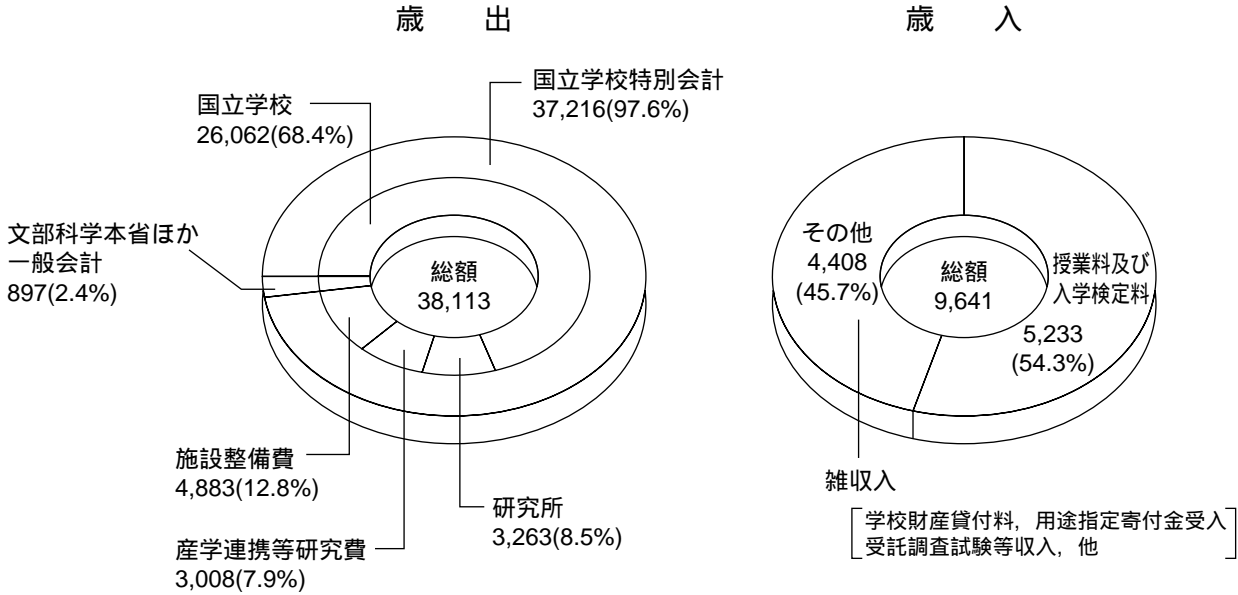
教：教官，研究者交流 学：学生交流 情：学術情報交換

21 . 財務の状況

(1) 歳入・歳出

平成12年度決算額

(単位：百万円)

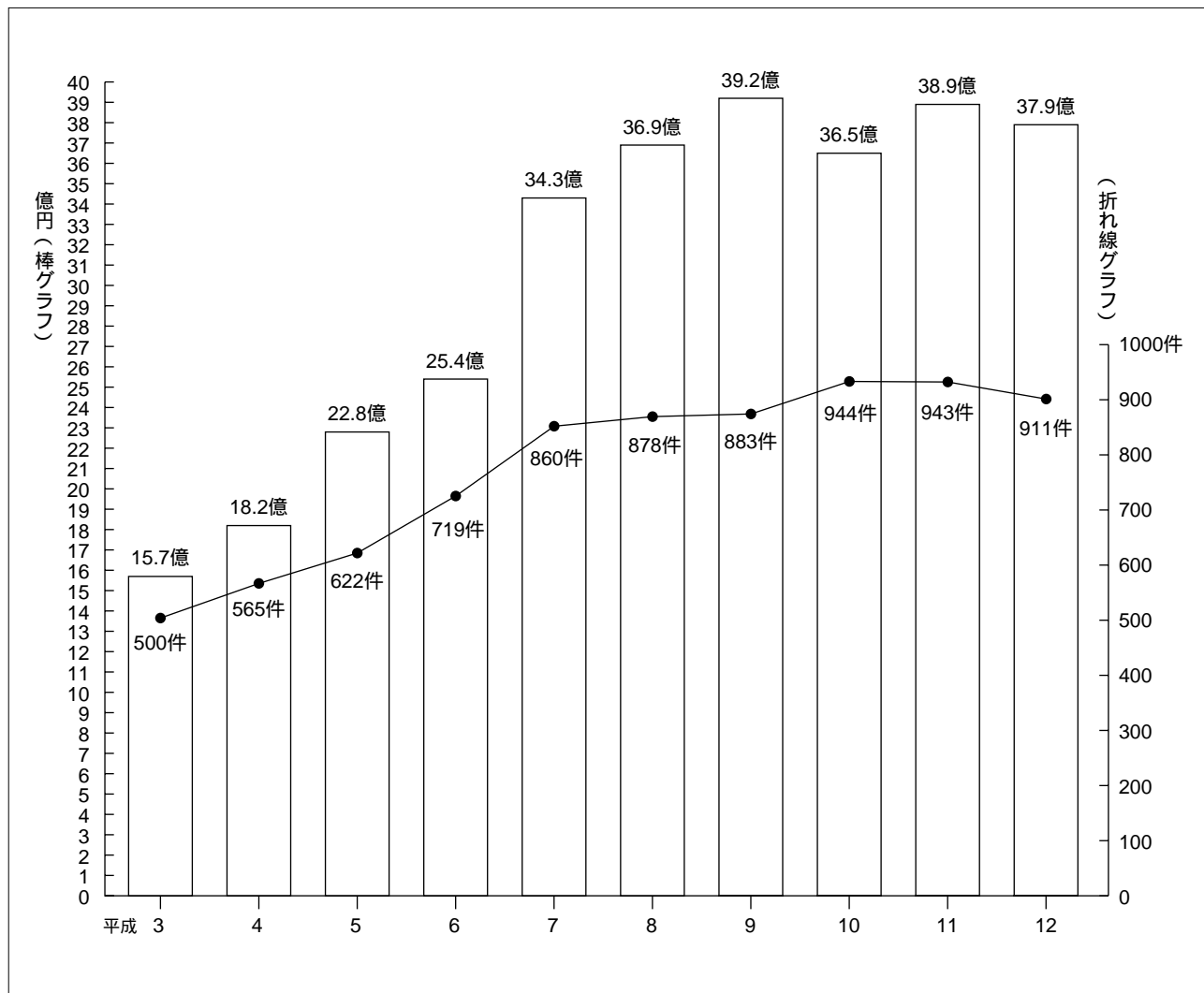


(2) 科学研究費補助金

(平成12年度)

| 研究種目 | 採択件数 | 交付金額(千円) |
|--------------|------|-----------|
| 特別推進研究(2) | 3 | 239,700 |
| 特定領域研究(AⅠ1) | 7 | 292,400 |
| 特定領域研究(AⅠ2) | 36 | 153,600 |
| 特定領域研究(BⅠ1) | 1 | 8,600 |
| 特定領域研究(BⅠ2) | 27 | 403,307 |
| 特定領域研究(CⅠ2) | 8 | 67,000 |
| 地域連携推進研究費(2) | 1 | 33,300 |
| 基盤研究(AⅠ1) | 5 | 49,500 |
| 基盤研究(AⅠ2) | 53 | 512,030 |
| 基盤研究(BⅠ1) | 13 | 76,700 |
| 基盤研究(BⅠ2) | 213 | 928,220 |
| 基盤研究(CⅠ1) | 4 | 8,600 |
| 基盤研究(CⅠ2) | 150 | 207,400 |
| 萌芽的研究 | 46 | 53,400 |
| 奨励研究(A) | 148 | 156,711 |
| 特別研究員奨励費 | 192 | 186,877 |
| C O E | 2 | 330,000 |
| 新 プ ロ | 2 | 80,000 |
| 合 計 | 911 | 3,787,345 |

科学研究費補助金実績比較表



(3) 外部資金等

(平成12年度)

| 名 称 | 件 数 | 金 額 (千円) |
|-----------|-------|-----------|
| 奨 学 寄 附 金 | 952 | 1,142,806 |
| 受 託 研 究 費 | 214 | 2,632,039 |
| 共 同 研 究 費 | 114 | 485,958 |
| 合 計 | 1,280 | 4,260,803 |

(注) 奨学寄附金には、寄附講座、寄附研究部門及び創造プロジェクト研究の寄附件数及び寄附金額が含まれる。また、受託研究費の件数には、平成12年度受入れ金額のないもの(複数年度契約のため)が含まれる。

22 . 入学状況

学部

(平成13年度)

| 類 ・ 学 部 | 募 集 人 員 | 志 願 者 数 | 入 学 者 数 |
|---------------|---------|---------|---------|
| 1 類 理 学 部 | 185 | 1,338 | 197 |
| 2 類 工 学 部 | 83 | 530 | 92 |
| 3 類 工 学 部 | 111 | 639 | 128 |
| 4 類 工 学 部 | 182 | 1,473 | 210 |
| 5 類 工 学 部 | 202 | 1,644 | 234 |
| 6 類 工 学 部 | 115 | 788 | 132 |
| 7 類 生 命 工 学 部 | 150 | 802 | 165 |
| 計 | 1,028 | 7,214 | 1,158 |

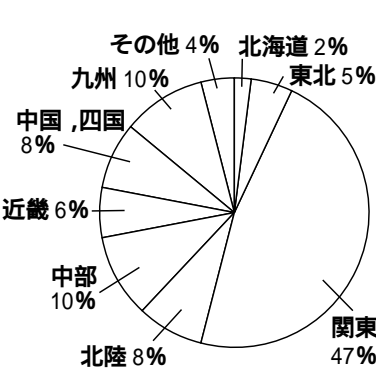
大学院

(平成13年度)

| 研 究 科 | 修 士 課 程 | | | 博 士 後 期 課 程 | | | 入学者合計 |
|-----------------|---------|-------|---------------------|-------------|------|-------------------|---------------------|
| | 入学定員 | 志願者数 | 入学者数 | 入学定員 | 志願者数 | 入学者数 | |
| 理 工 学 研 究 科 | 566 | 1,120 | 692 ^⑭ | 201 | 159 | 147 ^⑳ | 839 ^{④④} |
| 生 命 工 学 研 究 科 | 98 | 224 | 129 ^① | 35 | 49 | 45 ^⑧ | 174 ^⑨ |
| 総 合 理 工 学 研 究 科 | 433 | 1,031 | 527 ^⑥ | 219 | 130 | 127 ^⑵ | 654 ^{③①} |
| 情 報 理 工 学 研 究 科 | 98 | 147 | 120 ^① | 35 | 35 | 33 ^⑨ | 153 ^⑩ |
| 社 会 理 工 学 研 究 科 | 95 | 210 | 119 | 44 | 32 | 26 ^⑩ | 145 ^⑩ |
| 計 | 1,290 | 2,732 | 1,587 ^{②②} | 534 | 405 | 378 ^{⑧②} | 1,965 ^{⑩④} |

内は平成12年10月入学者で外数

学部入学生の出身高校の地域別



都道府県別 (単位: 人) 北海道 (27) 青森県 (8) 岩手県 (5) 宮城県 (11) 秋田県 (7) 山形県 (7) 福島県 (16) 茨城県 (22) 栃木県 (12) 群馬県 (23) 埼玉県 (74) 千葉県 (45) 東京都 (231) 神奈川県 (140) 新潟県 (23) 富山県 (28) 石川県 (6) 福井県 (7) 山梨県 (13) 長野県 (26) 岐阜県 (20) 静岡県 (38) 愛知県 (34) 三重県 (19) 滋賀県 (5) 京都府 (7) 大阪府 (15) 兵庫県 (31) 奈良県 (4) 和歌山県 (8) 鳥取県 (7) 島根県 (5) 岡山県 (11) 広島県 (24) 山口県 (17) 徳島県 (4) 香川県 (7) 愛媛県 (10) 高知県 (5) 福岡県 (30) 佐賀県 (14) 長崎県 (9) 熊本県 (11) 大分県 (12) 宮崎県 (10) 鹿児島県 (24) 沖縄県 (4) その他 (42)
合計 1158

23. 卒業生（修了者）就職状況

（平成12年度）

| 区 分 | | 卒業（修了）者数 | 進学者数 | 就 職 状 況 | | | | その他 |
|-------------|-------------|----------|-------|---------|------|-----|-----|-----|
| | | | | 製造業 | 非製造業 | 教 員 | 公務員 | |
| 学部 | 理 学 部 | 198 | 174 | 8 | 7 | 1 | 0 | 8 |
| | 工 学 部 | 957 | 773 | 62 | 80 | 1 | 5 | 36 |
| | 生 命 理 工 学 部 | 164 | 142 | 1 | 8 | 0 | 0 | 13 |
| | 合 計 | 1,319 | 1,089 | 71 | 95 | 2 | 5 | 57 |
| 大学院（修士課程） | 理 工 学 研 究 科 | 616 | 104 | 323 | 149 | 1 | 16 | 23 |
| | 生命理工学研究科 | 114 | 46 | 47 | 15 | 0 | 0 | 6 |
| | 総合理工学研究科 | 526 | 99 | 271 | 129 | 3 | 8 | 16 |
| | 情報理工学研究科 | 125 | 22 | 51 | 43 | 0 | 2 | 7 |
| | 社会理工学研究科 | 107 | 13 | 26 | 53 | 1 | 3 | 11 |
| | 合 計 | 1,488 | 284 | 718 | 389 | 5 | 29 | 63 |
| 大学院（博士後期課程） | 理 工 学 研 究 科 | 136 | - | 24 | 13 | 10 | 1 | 88 |
| | 生命理工学研究科 | 46 | - | 3 | 6 | 2 | 0 | 35 |
| | 総合理工学研究科 | 98 | - | 18 | 10 | 5 | 1 | 64 |
| | 情報理工学研究科 | 32 | - | 3 | 3 | 4 | 1 | 21 |
| | 社会理工学研究科 | 37 | - | 0 | 3 | 9 | 1 | 24 |
| | 合 計 | 349 | - | 48 | 35 | 30 | 4 | 232 |

（注） 非製造業とは金融・保険・不動産・サービス業等である。
 教員の中に大学の助手等を含み、公務員には教員を含まない。
 「その他」は研究生等である。



24 . 国際交流会館・留学生会館・学生寮

| 名 称 | 所 在 地 | 収 容 人 員 |
|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 東京工業大学 国際交流会館 | 〒145-0061 東京都大田区石川町 1-1-18 (東急目黒線・大井町線大岡山駅 徒歩10分 東急池上線石川台駅徒歩8分) | 単身室(18㎡) 73室 夫婦室(39㎡) 15室 家族室(56㎡) 12室 |
| 梅 が 丘 留 学 生 会 館 | 〒227-0052 神奈川県横浜市 青葉区梅が丘17-2 (東急田園都市線藤が丘駅 徒歩15分) | 単身室(12.5㎡) 50室 夫婦室(40㎡) 10室 |
| 松 風 留 学 生 会 館 | 〒227-0067 神奈川県横浜市青葉区 松風台21-13 (東急田園都市線青葉台駅 徒歩15分) | 単身室 (12.5~13.75㎡) 46室 夫婦室(40㎡) 5室 |
| 松 風 学 舎 | 〒227-0067 神奈川県横浜市青葉区 松風台21-13 | 個室(13㎡) 144室 |

国際交流会館

国際交流に関する諸事業及び外国人研究者(東京工業大学及び他の理工系の大学等に属する研究者)の宿泊の用に供し,教育研究の国際交流の促進に資する施設

留学生会館

東京工業大学及び東京地区,横浜地区の国立大学に在学する外国人留学生の宿舍

学生寮(松風学舎)

東京工業大学在学の学部,大学院修士課程及び博士課程の男子学生を対象とした寮



国際交流会館



松風留学生会館・松風学舎



梅が丘留学生会館

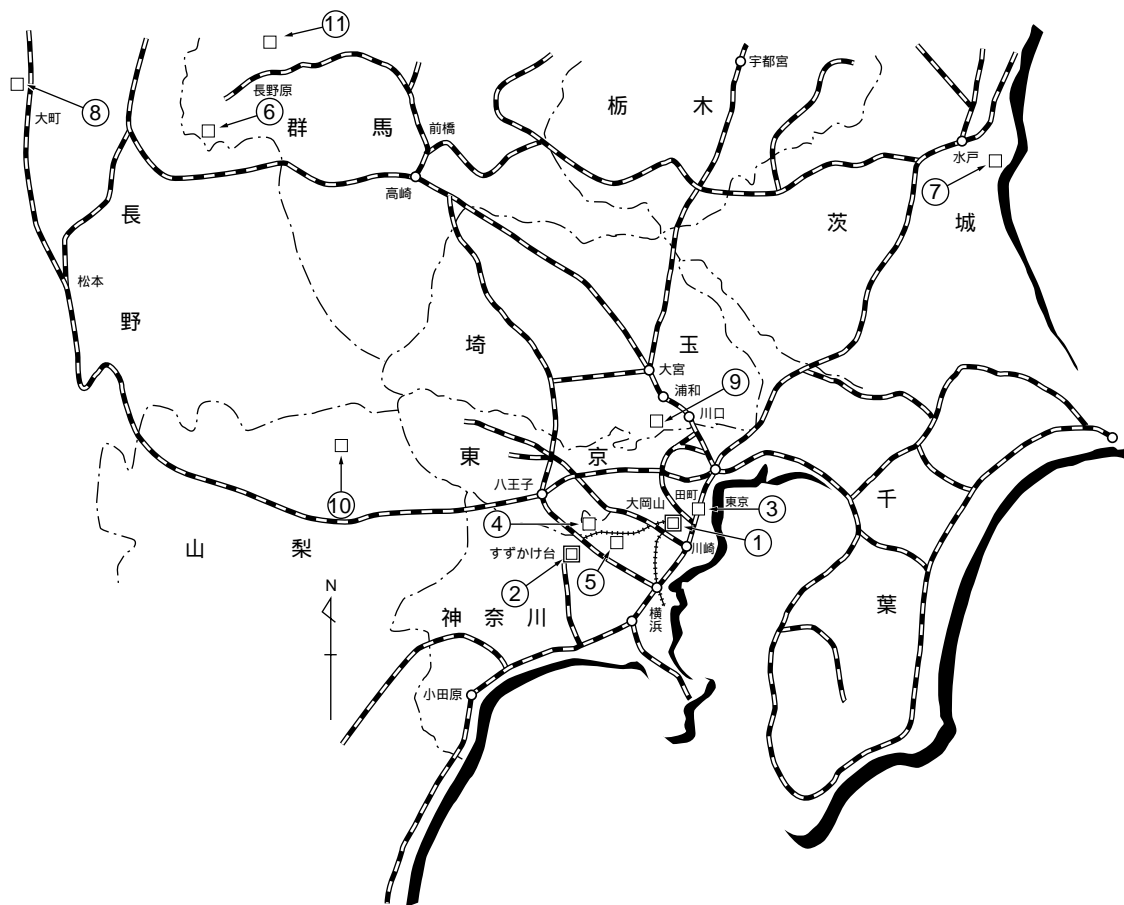
25 . 土地・建物面積

単位：㎡（平成13年5月1日現在）

| 用 途 別 | | 大 岡 山 | す ず かけ 台 | 田 町 | そ の 他 | 計 |
|-------|---------------------|----------|----------|---------|----------------|----------------|
| 土 地 | 庁 舎 敷 地 | 213 528 | 204 877 | 12 899 | 29 ,132(738) | 460 436(738) |
| | 屋 外 運 動 場 | 28 666 | | 9 717 | 5 313 | 43 696 |
| | 寄 宿 舎 敷 地 | | | | 15 336 | 15 336 |
| | 宿 舎 敷 地 | 3 459 | | 543 | 7 038 | 11 040 |
| | そ の 他 | 684 | 3 536 | | | 4 220 |
| 計 | | 246 337 | 208 413 | 23 ,159 | 56 819(738) | 534 728(738) |
| 建 物 | 理 学 部 | 22 363 | | | | 22 363 |
| | 工 学 部 | 81 724 | | | | 81 724 |
| | 工学部附属工業高等学校 | | | 12 256 | | 12 256 |
| | 生 命 理 工 学 部 | | 22 318 | | | 22 318 |
| | 共 通 教 育 | 11 265 | | | | 11 265 |
| | 大学院情報理工学研究科 | 18 903 | | | | 18 903 |
| | 大学院社会理工学研究科 | 14 ,116 | | | | 14 ,116 |
| | 大学院総合理工学研究科 | | 35 679 | | | 35 679 |
| | 原 子 炉 工 学 研 究 所 | 11 331 | | | | 11 331 |
| | 資 源 化 学 研 究 所 | | 7 061 | | | 7 061 |
| | 精 密 工 学 研 究 所 | | 9 211 | | | 9 211 |
| | 応用セラミックス研究所 | | 8 902 | | | 8 902 |
| | 像 情 報 工 学 研 究 施 設 | | 2 040 | | | 2 040 |
| | 資 源 循 環 研 究 施 設 | | 534 | | | 534 |
| | 遺 伝 子 実 験 施 設 | | 1 530 | | | 1 530 |
| | 生 物 実 験 セ ン タ ー | | 980 | | | 980 |
| | 学術国際情報センター | 3 904 | | | | 3 904 |
| | 留 学 生 セ ン タ ー | 1 060 | | | | 1 060 |
| | 教育工学開発センター | 1 030 | | | | 1 030 |
| | 極低温物性研究センター | 676 | | | | 676 |
| | 文教施設研究開発センター | 1 214 | | | | 1 214 |
| | 構造デザイン研究センター | | 801 | | | 801 |
| | 火 山 流 体 研 究 セ ン タ ー | 51 | | | 580 | 631 |
| | 事 務 局 | 4 248 | | | | 4 248 |
| | 教 職 員 施 設 | 2 ,141 | | | 261 | 2 402 |
| | 附 属 図 書 館 | 7 ,100 | 2 ,170 | | | 9 270 |
| | 運 動 場 | 4 678 | | 905 | | 5 583 |
| | 講 堂 | 1 234 | | | | 1 234 |
| | 福 利 施 設 | 3 331 | 2 ,775 | | | 6 ,106 |
| | 保 健 管 理 セ ン タ ー | 493 | 300 | | | 793 |
| | 課 外 活 動 施 設 | 2 519 | 1 040 | | 2 ,185 | 5 744 |
| | 国 際 交 流 会 館 | 4 388 | | | 5 206 | 9 594 |
| | 地 球 史 資 料 館 | 318 | | | | 318 |
| | 創造プロジェクト研究館 | 1 ,115 | | | | 1 ,115 |
| | ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー | 1 978 | | | | 1 978 |
| | フロンティア創造共同研究センター | | 3 711 | | | 3 711 |
| | アイソトープ総合センター | | 2 647 | | | 2 647 |
| | 職 員 宿 舎 | 1 485 | | 1 512 | 5 824 | 8 821 |
| | 学 生 寄 宿 舎 | | | | 4 214 | 4 214 |
| | そ の 他（設備室等） | 17 510 | 13 ,105 | 753 | 260 | 31 628 |
| | 計 | 220 ,175 | 114 804 | 15 426 | 18 530 | 368 935 |

（注）（ ）内は借用地で外数

26. 施設位置図



| 番号 | 団地名 | 学 部 等 名 | 所在地 及び 電話番号 | 交 通 | 備 考 |
|----|-------|---------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|-------------|
| | 大岡山 | 理工学研究科 事務局 理・工学部 情報理工学研究科 社会理工学研究科 1 研究所 其他 | 〒152-8550 目黒区大岡山2-12-1 | 東京急行大井町線・目黒線大岡山駅下車徒歩1分 | |
| | すすかけ台 | 生命理工学研究科, 生命理工学部, 総合理工学研究科, 3 研究所 総合研究館 其他 | 〒226-8503 横浜市緑区長津田町4259 | 東京急行田園都市線すすかけ台駅下車徒歩5分 | |
| | 田 町 | 工学部附属工業高等学校, 其他 | 〒108-0023 港区芝浦3-3-6 | J R 山の手線・京浜東北線田町駅下車徒歩2分 | |
| | 松風台 | 松風学舎, 松風留学生会館 | 〒227-0067 横浜市青葉区松風台21-13 ☎(045) 981-7115, (045) 983-9521 | 東京急行田園都市線青葉台駅下車徒歩15分 | |
| | 梅が丘 | 留学生会館 | 〒227-0052 横浜市青葉区梅が丘17-2 ☎(045) 971-6473 | 東京急行田園都市線梅が丘駅下車徒歩15分 | |
| | 鹿 沢 | 「福利厚生関係施設(鹿沢合宿研修所)」 | 〒337-1524 群馬県吾妻郡嬬恋村大字鎌原字湯の丸山1053-834 ☎(0279) 98-0552 | J R 吾妻線万座・鹿沢口駅から J R バス 鹿沢温泉下車徒歩10分 | 収容人員 30名 |
| | 大 洗 | 「 (大洗合宿研修所)」 | 〒311-1311 茨城県東茨城郡大洗町大貫角-257 ☎(0292) 67-5007 | J R 常磐線水戸駅から茨城交通バス大貫角一停留所前 / 大洗鹿島線大洗駅下車徒歩20分 | 収容人員 40名 |
| | 大 町 | 「 (木崎湖合宿研修所)」 | 〒398-0001 長野県大町市大字平14771-1 ☎(0261) 23-1184 | J R 大糸線海の口駅下車徒歩15分 | 収容人員 30名 |
| | 戸 田 | 「 (艇庫)」 | 〒335-0024 埼玉県戸田市戸田公園1-55 | J R 埼京線戸田公園駅下車徒歩15分 | |
| | 塩 山 | 「 (山小屋)」 | 〒402-0211 山梨県塩山市大字小屋敷字滑沢2319-1 | J R 中央本線塩山駅下車徒歩約20km | |
| | 草 津 | 火山流体研究センター | 〒377-1711 群馬県吾妻郡草津町大字草津字滝尻原641-36 ☎(0279) 98-7715 | J R 吾妻線長野原駅から J R バス 草津温泉下車徒歩30分 | |



鹿沢合宿研修所



木崎湖合宿研修所



大洗合宿研修所

27. 建物配置図

1. 大岡山団地



所在地 東京都目黒区大岡山 2-12-1

最寄駅 東京急行大井町線・目黒線大岡山駅下車徒歩1分

土地 246 337m²

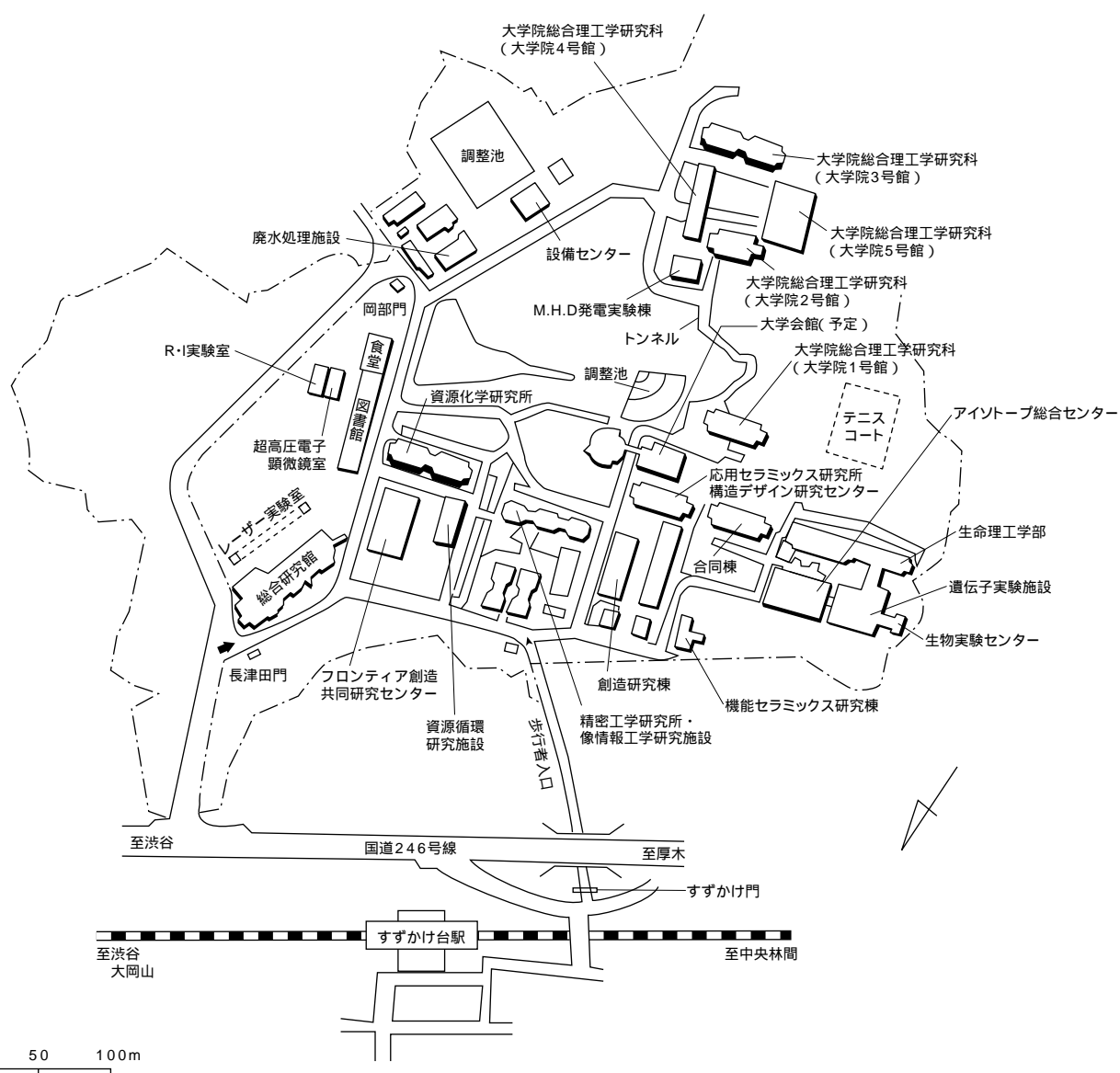
建 物 延220,175m²



2. すずかけ台団地



所在地 横浜市緑区長津田町4259
 最寄駅 東京急行田園都市線すずかけ台駅下車徒歩5分
 土地 208,413㎡
 建物 延114,804㎡



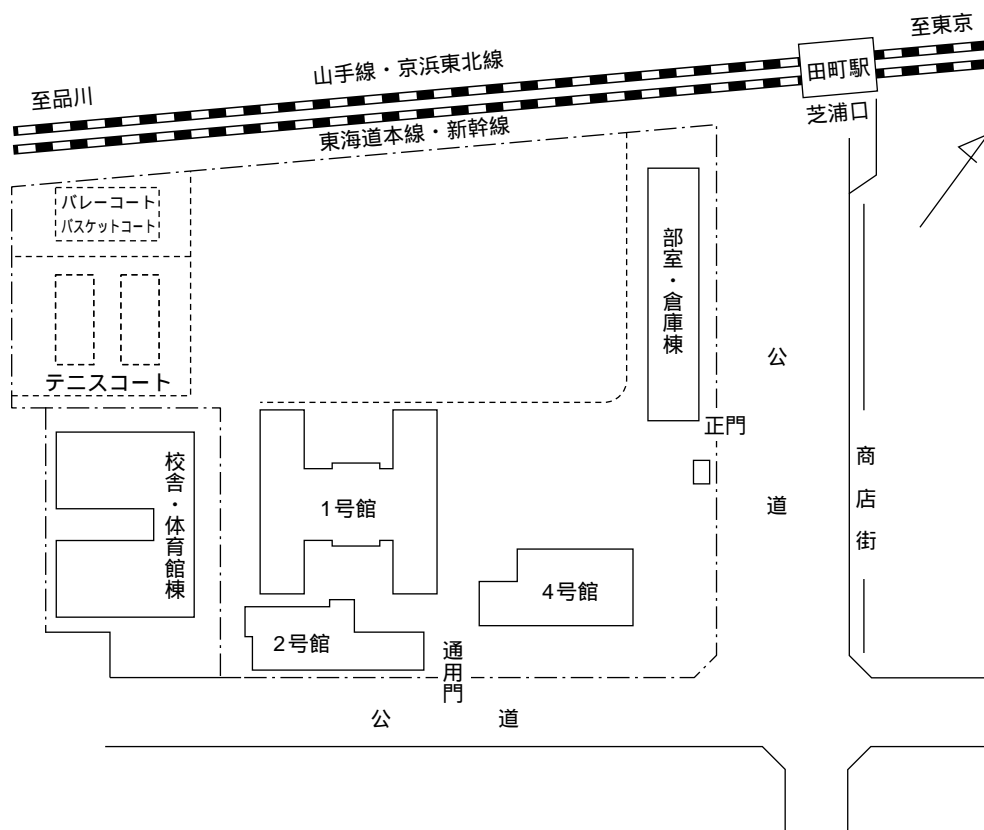
3．田町団地（工学部附属工業高等学校）

所在地 港区芝浦 3-3-6

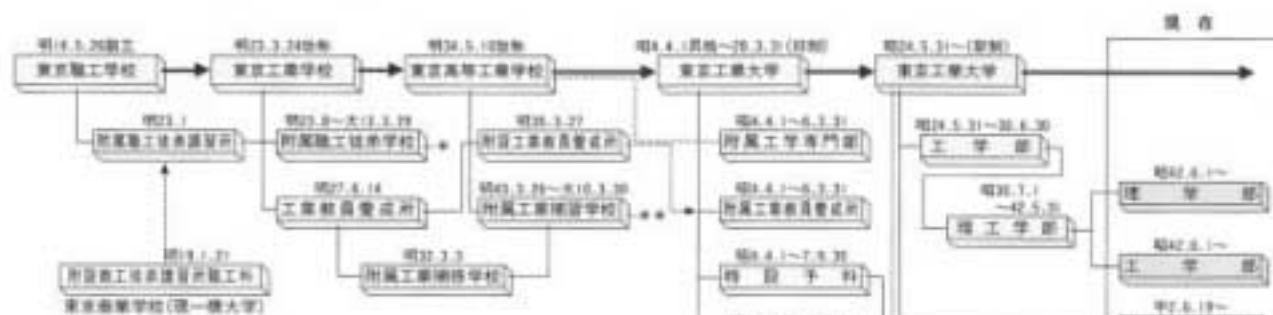
最寄駅 J R 山手線・京浜東北線田町駅下車徒歩 2 分

土 地 23,159㎡

建 物 延15,426㎡



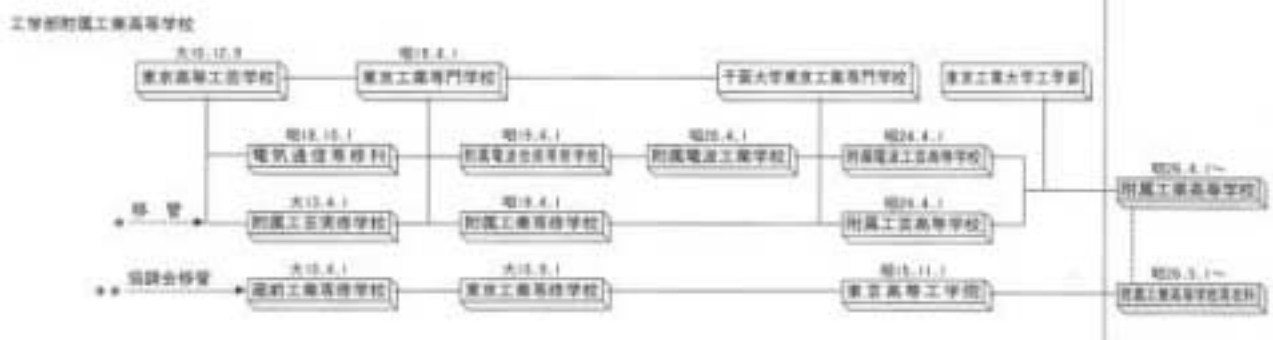
28. 沿革図



東京高等工業学校本館（蔵前当時）



(注) 本学創立当時「職工」とは、現場の実践的技術者を称したもので、現在の職工とは異なった意味を持っていた。今は職工という言葉は余り用いられないが、この職工に当たるのは当時「徒弟」と言われていた。



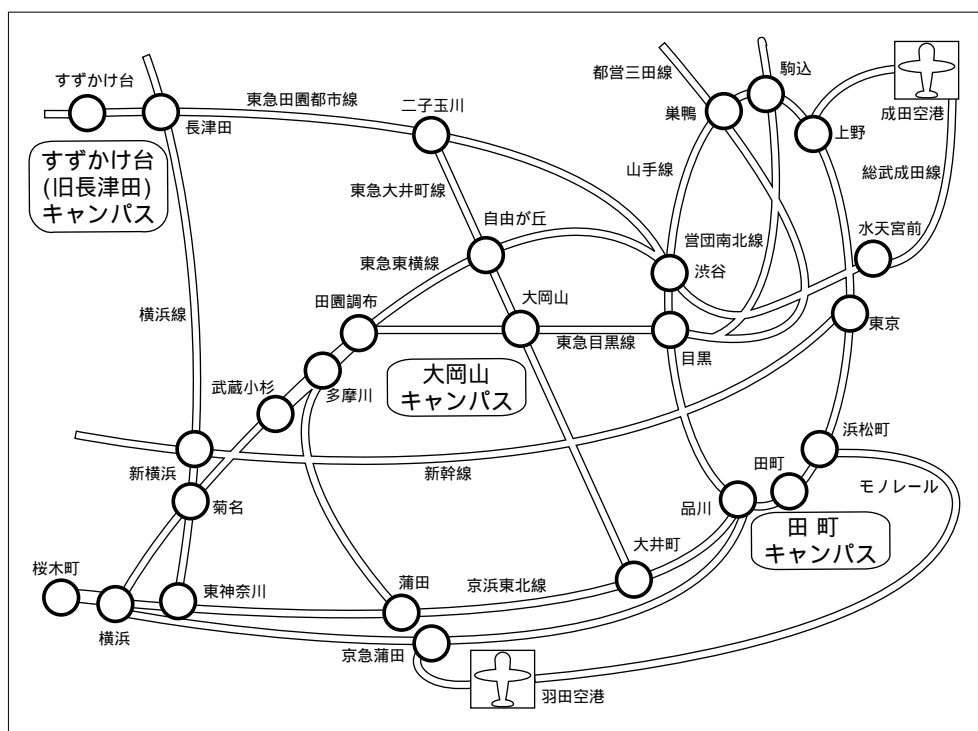
沿 革

| | | |
|-------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 明治14年 | 5 26 | 東京職工学校設立 |
| 23年 | 3 24 | 東京工業学校と改称 |
| 34年 | 5 .10 | 東京高等工業学校と改称 |
| 昭和4年 | 4 .1 | 東京工業大学へ昇格。染料化学科，紡織学科，窯業学科，応用化学科，電気化学科，機械工学科，電気工学科及び建築学科の8学科と数学教室，物理学教室，物理化学教室及び分析化学教室の4教室設置 |
| 5年 | 7 . | 無機化学教室設置 |
| | 10 . | 有機化学教室設置 |
| 6年 | 9 . | 化学工学教室設置 |
| 7年 | 9 30 | 附属予備部設置 |
| 9年 | 2 28 | 建築材料研究所設置 |
| 10年 | 6 . | 工業経済教室設置 |
| 14年 | 2 21 | 資源化学研究所設置 |
| | 4 .8 | 航空機工学科設置 |
| | 12 27 | 精密機械研究所設置 |
| 15年 | 4 .1 | 化学工学教室を廃止し，化学工学科新設 |
| 16年 | 4 .1 | 金属工学科及び燃料工学科新設 |
| 17年 | 5 26 | 附属高等工業教員養成所設置 |
| 18年 | 1 30 | 窯業研究所附置 |
| | 10 .1 | 特別研究生制度発足，幹部技術者講習所及び附属予備部特別予科設置 |
| 19年 | 1 .6 | 電子工学研究所附置 |
| | 4 .1 | 附属工業専門部設置。機械科，電気科，電気通信科，航空機科，金属工学科及び化学工学科設置 |
| | 8 22 | 燃料科学研究所附置 |
| 20年 | 4 .1 | 附属工業専門部に窯業科新設 |
| | 12 31 | 航空機工学科及び燃料工学科並びに専門部航空機科廃止 |
| 21年 | 3 22 | 電子工学研究所を電気科学研究所と改称 |
| 23年 | 3 31 | 附属工業専門部廃止 |
| 24年 | 5 31 | 国立学校設置法公布により国立東京工業大学新設，工学部設置。旧制東京工業大学，同附属予備部及び同附属高等工業教員養成所は新制に包括し，建築材料研究所，資源化学研究所，精密機械研究所，窯業研究所，電気科学研究所及び燃料科学研究所附置 |
| 26年 | 4 .1 | 千葉大学東京工業専門学校附属電波工芸高等学校及び同附属工芸高等学校を本学工学部附属工業高等学校として移管 |
| 27年 | 3 31 | 附属予備部及び附属高等工業教員養成所廃止 |
| 28年 | 4 .1 | 大学院工学研究科設置。応用物理学，化学及び化学工学，機械工学，電気工学，金属工学，繊維工学及び建築学の7専攻設置 |
| 29年 | 4 .1 | 建築材料研究所，資源化学研究所，精密機械研究所，窯業研究所，電気科学研究所及び燃料科学研究所を建築材料研究所，資源化学研究所，精密工学研究所及び窯業研究所に整備し，学部に印刷技術研究施設設置 |
| | 9 .7 | 講座制新設 |
| 30年 | 7 .1 | 工学部を理工学部へ改称。理工学部に数学，物理学，化学，化学工学，機械工学，電気工学，金属工学，繊維工学，建築学及び経営工学の10学科設置 |
| 31年 | 4 .1 | 理工学部に原子炉研究施設設置。大学院工学研究科を大学院理工学研究科に改称。 |
| 32年 | 4 .1 | 大学院理工学研究科に原子核工学専攻設置 |

| | | |
|-----|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 33年 | 4 .1 | 建築材料研究所及び窯業研究所を統合し，工業材料研究所附置 |
| 35年 | 4 .1 | 理工学部 に数学科，物理学科，化学科，金属工学科，繊維工学科，無機材料工学科，化学工学科，工業化学科，機械工学科，制御工学科，経営工学科，電気工学科，電子工学科及び建築学科の14学科設置 |
| 36年 | 4 .1 | 応用物理学科設置 |
| | 5 .19 | 工業教員養成所設置 |
| 37年 | 4 .1 | 高分子工学科，応用電気化学科及び生産機械工学科設置 |
| 38年 | 3 31 | 本学の大学院の名称及び課程を理工学研究科 - 5年課程と規定 |
| | 4 .1 | 理工学部 に酵素化学研究施設設置 工業化学科を合成化学科と改称 |
| 39年 | 4 .1 | 原子炉研究施設を廃止し，原子炉工学研究所附置 土木工学科設置 印刷技術研究施設を印写工学研究施設と改称 |
| 40年 | 4 .1 | 酵素化学研究施設を天然物化学研究施設と改称 電子物理工学科設置 |
| 41年 | 4 .1 | 社会工学科設置 |
| 42年 | 4 .1 | 機械物理工学科設置 |
| | 6 .1 | 理工学部を理学部，工学部に分離，天然物化学研究施設は理学部に，印写工学研究施設及び附属工業高等学校は工学部にそれぞれ附属 |
| 44年 | 4 .1 | 工業教員養成所廃止 |
| 45年 | 4 .1 | 理学部に情報科学科設置 工学部 応用電気化学科を電気化学科と改称 |
| 46年 | 4 .1 | 工学部 繊維工学科を有機材料工学科と改称。保健管理センター設置 |
| 48年 | 4 .1 | 教育工学開発センター設置 工学部 化学工学科，合成化学科及び電気化学科を改組し化学工学科設置 |
| 49年 | 4 .1 | 工学部 電気工学科，電子工学科及び電子物理工学科を改組し，新たに電気・電子工学科，電子物理工学科及び情報工学科設置。工学部 附属印写工学研究施設を同附属像情報工学研究施設と改称 |
| | 4 .11 | 資源化学研究所に附属資源循環研究施設設置 |
| 50年 | 4 .1 | 大学院総合理工学研究科設置（既設の理工学研究科に置かれていた7専攻に加えて3専攻（生命化学，エネルギー科学，システム科学）を新設し10専攻で発足） |
| 51年 | 5 .10 | 総合情報処理センター設置。工業材料研究所に附属水熱合成材料実験施設設置 |
| 53年 | 10 .1 | 長津田地区に附属図書館長津田分館設置 |
| 54年 | 4 .1 | 長津田地区に総合理工学研究科等事務部を設置し，長津田地区の事務を一元化 理工学国際交流センター設置 |
| 56年 | 4 .1 | 極低温エネルギー実験センター設置 |
| 57年 | 4 .1 | 研究・情報交流センター設置 |
| 58年 | 4 .1 | 文教施設総合研究センター設置 |
| 59年 | 3 31 | 工業材料研究所附属水熱合成材料実験施設廃止 |
| | 4 .11 | 工業材料研究所附属新素材セラミックス実験施設設置 |
| 61年 | 4 .1 | 理学部 附属天然物化学研究施設廃止 理学部に生命理学科、工学部に生物工学科設置 |
| 62年 | 4 .1 | 工学部 電気・電子工学科及び電子物理工学科を改組し，新たに電気・電子工学科及び電子物理工学科設置 |

| | | |
|------|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 63年 | 4 .1 | 理学部に生体機構学科，工学部に生体分子工学科設置 |
| | 4 .8 | 留学生教育センター及び草津白根火山観測所設置。工業材料研究所附属新素材セラミックス実験施設を廃止し，同附属セラミックス研究センター設置 |
| 平成元年 | 5 29 | 遺伝子実験施設設置 |
| 2年 | 6 .19 | 生命理工学部設置（理学部の生命理学科及び生体機構学科並びに工学部の生物工学科及び生体分子工学科を振替） |
| 3年 | 4 .1 | 極低温エネルギー実験センター廃止 大学院総合理工学研究科生命化学専攻を知能科学専攻に改称 |
| | 4 .12 | 極低温システム研究センター設置 |
| 4年 | 4 .1 | 大学院生命理工学研究科設置（バイオサイエンス及びバイオテクノロジーの2専攻） |
| | 4 .10 | 炭素循環素材研究センター設置。理学部に地球・惑星科学学科設置 |
| 5年 | 4 .1 | 大学院総合理工学研究科に環境物理工学専攻設置 工学部機械工学科，生産機械工学科，機械物理工学科，制御工学科及び経営工学科を改組し，機械科学科，機械知能システム学科，機械宇宙学科，制御システム工学科及び経営システム工学科設置 文教施設総合研究センターを廃止し，文教施設研究開発センター設置 |
| 6年 | 4 .1 | 大学院情報理工学研究科設置（数理・計算科学，計算工学及び情報環境学の3専攻） |
| | 6 24 | 留学生教育センターを廃止し，留学生センター設置 量子効果エレクトロニクス研究センター及び生物実験センター設置 |
| 7年 | 4 .1 | 大学院総合理工学研究科の社会開発工学及びエネルギー科学専攻を廃止し，人間環境システム及び創造エネルギー専攻設置 工学部化学工学科，機械科学科，電子物理工学科及び土木工学科を改組し，化学工学科，機械科学科，電子物理工学科，土木工学科及び開発システム工学科設置 |
| 8年 | 4 .1 | 大学院社会理工学研究科設置（人間行動システム，価値システム，経営工学及び社会工学の4専攻） 大学院理工学研究科に地球惑星科学専攻設置 大学院総合理工学研究科の知能科学及びシステム科学専攻を廃止し，知能システム科学専攻設置 理学部地球・惑星科学学科を地球惑星科学学科に改称 |
| | 5 .11 | 外国語研究教育センター設置 工業材料研究所を改組し，応用セラミックス研究所附置 工業材料研究所附属セラミックス研究センターを改組し，応用セラミックス研究所附属構造デザイン研究センター設置 |
| 9年 | 4 .1 | アイソトープ総合センター設置 大学院総合理工学研究科の電子化学及び材料科学専攻を改組し，物質電子化学，材料物理科学及び物質科学創造専攻設置 |
| 10年 | 4 .1 | 大学院理工学研究科の数学，物理学，化学，応用物理学，地球惑星科学，金属工学（一部），有機材料工学（一部），無機材料工学（一部），化学工学（一部）及び高分子工学専攻（一部）を改組し，数学，基礎物理学，物性物理学，化学，地球惑星科学及び物質科学専攻を設置 大学院総合理工学研究科の化学環境工学及び環境物理工学専攻を改組し，化学環境及び環境理工学創造専攻を設置 理学部数学科，物理学科，化学科，応用物理学科，情報科学科及び地球惑星科学科を改組し，数学科，物理学科，化学科，情報科学科及び地球惑星科学科を設置 |
| | 4 .9 | 研究・情報交流センターを廃止し，フロンティア創造共同研究センターを設置 |

| | | |
|-----|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11年 | 4 . 1 | <p>理財工学研究センター設置</p> <p>大学院理工学研究科に国際開発工学専攻を設置し，金属工学，有機材料工学，無機材料工学，化学工学及び高分子工学専攻を改組し，材料工学，有機・高分子物質，応用化学及び化学工学専攻を設置</p> <p>大学院生命理工学研究科のバイオサイエンス（一部）及びバイオテクノロジー（一部）専攻を改組し，分子生命科学，生命情報及び生体分子機能工学専攻を設置</p> <p>大学院総合理工学研究科の物理情報工学及び電子システム専攻を改組し，物理情報システム創造及び電子機能システム専攻を設置</p> <p>生命理工学部生命理学科，生体機能工学科，生物工学科及び生体分子工学科を改組し，生命科学科及び生命工学科を設置</p> |
| 12年 | 4 . 1 | <p>草津白根火山観測所を廃止し，火山流体研究センターを設置</p> <p>大学院理工学研究科機械工学，生産機械工学，機械物理工学，制御工学，電気・電子工学，電子物理工学，土木工学及び建築学専攻を改組し，機械物理工学，機械制御システム，機械宇宙システム，電気電子工学，電子物理工学，集積システム，土木工学及び建築学専攻を設置</p> <p>大学院生命理工学研究科バイオサイエンス及びバイオテクノロジー専攻を改組し，生体システム及び生物プロセス専攻を設置</p> <p>工学部電気・電子工学科，電子物理工学科及び情報工学科を改組し，電気電子工学科及び情報工学科を設置</p> <p>精密工学研究所に附属マイクロシステム研究センター設置</p> <p>副学長制度を導入し，副学長（教育担当）及び副学長（研究担当）を設置</p> |
| 13年 | 4 . 1 | <p>総合情報処理センター及び理工学国際交流センターを廃止し，学術国際情報センターを設置</p> <p>極低温システム研究センターを廃止し，極低温物性研究センターを設置</p> |



| | | |
|------------|-------------------------|-------------------------|
| 大岡山キャンパス | 東京急行大井町線・目黒線大岡山駅下車徒歩1分 | ☎ 03) 3726-1111(番号案内) |
| すずかけ台キャンパス | 東京急行田園都市線すずかけ台駅下車徒歩5分 | ☎ 045) 922-1111(番号案内) |
| 田町キャンパス | J R 山の手線・京浜東北線田町駅下車徒歩2分 | ☎ 03) 3453-2251(番号案内) |

平成13年7月発行 発行者 東京工業大学総務部企画広報室
 〒152-8550 東京都目黒区大岡山2丁目12番1号 TEL(03) 5734-3643
 ホームページ <http://www.titech.ac.jp/>